

より良い 地域社会・日本・世界の実現を目指して 貢献する力を培う 国際理解教育

世界を
知ろう!
考えよう!



藤田実代子 教諭



学校教員みんながそのまま使える、真似できる、
国際理解授業の指導案・ワークシート・教材のご案内

～藤田実代子教諭によるグローバル教育実践～

なぜ今、
国際理解教育が
大切ななの？



》 JICAについて

独立行政法人 国際協力機構（Japan International Cooperation Agency：JICA）は発展途上国が抱える様々な問題や課題を改善・解決していけるよう、途上国や日本で多面的に事業を展開している日本政府の専門機関です。JICAは数多くある事業の一つとして、途上国を含めた海外や国際協力に対する理解を促進するための事業（国際理解教育 / 開発教育支援事業）を日本国内で子供達や一般の方々向けに行っています。

》 なぜ今、国際理解教育を学校現場に取り入れるのか？

子供たちが社会に出る時、身近な地域で外国の方達が住んだり働いたりすることが増えていきます。外国・外国の人たちに対する異文化/多文化理解や、世界に存在する問題・課題を知ること、今や自分に関係ないことではなく、知っておくべき身に付けておくべき一般教養となりつつあります。

そもそも、何のために学ぶのでしょうか？ 国際理解教育だけでなく、全ての教科はそもそもより良い人生を生き、より良い社会や世界を築いていくために学ぶはずで。それが今は、グローバル化が進み、外国のことも知っていなければ、より良い地域社会・日本・世界を考える時に考えがアンバランスになってしまう時代になっています。だからこそ、学校教育の中で、国際理解を意識した取り組みが必要だとJICAは考えています。

》 国際理解教育を使って目指す方向性

正解のない問いかけを通じた主体的・対話的で深い学びから、既にグローバル化した地域・日本の中で、いち地域人・日本人として、より良い社会・日本・世界をみんなで作っていく力を培うことを目指します。



誰でもそのまま使える、真似できる、 国際理解教育のセット一式！

JICA 北陸の教師海外研修に参加された藤田実代子教諭（中学校 国語教諭）が作成された教材一式を活用して、みなさんも負担を減らして出来るところから取り組んでみませんか？

本冊子には指導案や子供の反応（感想）以外に、**職員会議で提案した資料**や、**略案**（他教員も同時に進められるように）、**使ったワークシート**、**教材**も掲載しています。今回掲載しているものは「総合的な学習の時間」を利用していますが、道徳や社会の中でも取り入れて頂ける内容が沢山あります。

藤田先生より著作権フリーで使わせて頂くことについて了承を得ております。JICA 北陸のウェブサイトにワードなど元データを掲載していますので、ダウンロード後上書きして活用下さい。

ぜひ検索して
見つけて下さい！

JICA 北陸 開発教育

検索



携帯から
QRコードでも
検索できます

どの時間にどうやって使えばいいの？ そんな時はJICA北陸までご相談ください
JICA北陸は“地域に開かれた教育”の一翼を担っています。多文化共生、国際交流、国際協力の流れを皆さまと一緒に作っていきたくと思っています。自ら考え行動するグローバル人材育成の一助としてJICA北陸が出来ることをご提案いたします。お気軽にJICA北陸までご相談下さい。

大きな世界を変えていくのはこんな一人一人の学び、意識、行動から

まずは知って、理解して、「じぶんごと」として捉える。

そして、主体的に自分のこと、日本のこと、世界の出来事を考える。

得た学びから自分はどう行動したらいいのか、自分に出来ることは何か、また考える。

日々の生活で出来ることから行動してみる。



藤田実代子教諭による国際理解授業

CONTENTS



- 指導案、本時の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～5ページ
- 本時の振り返り、生徒の反応/変化、自己評価・・・・・・・・・・・・ 6～14ページ

- 校内への提案：職員会議、学年会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～18ページ

- 展開計画：略案、ワークシート、教材を時間毎に掲載
 - 1時間目【世界を知ろう】まずは姉妹都市クイズから・・・・・・・・・・・・ 19ページ
 - 2時間目【世界を知ろう】国際理解が大事な理由を考える・・・・・・・・ 22ページ
 - 3時間目【世界を知ろう】開発途上国の現状を知ろう・・・・・・・・・・・・ 24ページ
 - 4時間目【世界を知ろう】無人島ゲームから生きるために必要なもの、当たり前になっているものに気付こう・・・ 30ページ
 - 5時間目【世界を知ろう】字が読めないってどんなこと？ 世界の識字率・・・・・・・・ 34ページ
 - 6時間目【世界を知ろう】私たちの生活とアフリカのつながりを考える・・・・・・・・ 37ページ
 - 7時間目【世界を知ろう】私たちの生活と熱帯雨林のつながりを考える・・・・・・・・ 40ページ
 - 8時間目【世界を知ろう】熱帯雨林を破壊しないために自分たちにできることを考える・・・・・・ 44ページ
 - 9時間目【負の連鎖を断ち切るために】貧困の負の連鎖を知る・・・・・・・・・・・・ 47ページ
 - 10時間目【負の連鎖を断ち切るために】よりよい地球を作るためのマニフェスト作成・・・・・・ 49ページ
 - 11時間目【負の連鎖を断ち切るために】地球大統領選挙を実施・・・・・・・・・・・・ 51ページ
 - 12時間目【ともに生きる地球の未来】持続可能な開発目標 SDGsを知る・・・・・・・・・・・・ 53ページ
 - 13時間目【ともに生きる地球の未来】選んだ課題について調べ学習を行う・・・・・・・・・・・・ 53ページ
 - 14時間目【ともに生きる地球の未来】解決に向けた未来への提案を考える・・・・・・・・・・・・ 53ページ
 - 15時間目【ともに生きる地球の未来】卒業研究 SDGs発表会・・・・・・・・・・・・ 54ページ

- JICA北陸 国際理解教育/開発教育 支援メニュー紹介・・・・・・・・・・・・ 58ページ

「Share Happy?」～ともに生きる地球の未来～

氏名	藤田 実代子	学校名	石川県白山市立松任中学校		
担当教科	国語科	実践教科	総合的な学習の時間		
時間数	15時間	対象学年	3年生	人数	250名

実施概要

01 単元のテーマ・目標（評価の観点を意識して設定）

世界に目を向ける 「Share Happy?」 ～ともに生きる 地球の未来～

世界はつながりの中で成り立っていることを理解し、持続可能な開発の視点をもちながら、他者と協働し、世界の幸せの実現に向けて自分にできることを考える。

02 単元の評価 規準

(ア) 知識及び技能	持続可能な開発のための17の目標を知り、世界はつながりの中で、関わり合いながら成り立っていることを理解する。
(イ) 思考・判断・表現	多角的な視点で情報を分析したり、答えのない課題の解決方法を探ったりしながら、整理・分析して、自分の考えをまとめる。
(ウ) 学びに向かう力・人間性	主体的・協動的に課題解決に取り組むとともに、自他のよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

03 単元設定の理由

〈生徒観〉

本校の総合的な学習の時間を使って、生徒は1年生の時は金沢について、2年生の時は関西について学習してきた。関西に関しては、テーマに分かれて調べた内容について、フィールドワークを修学旅行中に行った経験がある。これまで地元から日本へと視野を広げてきたので、これらを踏まえ世界に目を向けさせたい。これまで、技術では環境問題やエネルギー問題を、社会科ではさまざまな国際問題を、そして英語科では熱帯雨林の破壊とフェアトレードについて図書資料も活用しながら学んできた。ディベート後には、チョコレートの裏側にある児童労働をビデオ映像で学んだ。しかし、JICAのエッセイコンテストに参加したところ「世界の幸せのためにあなたができることは?」という問いに対する答えをみつけられない生徒が多かった。

人や世界とつながりながら生きている自分に気づき、そして日本・世界に存在する多種多様な出来事に対してさまざまな見方・考え方を働かせていくには、答えのない問いに対しても積極的に考える姿勢や、学びを自分の行動へとつなげていく意識を育むことが大切である。

〈教材観〉

世界の遠い国の話ではなく、自分の食卓や自分の日常生活が世界とつながっていることを実感できるような資料を準備する。世界の諸問題は答えのないものであるからこそ、一人ひとりが自分の言葉で思考し、判断できる場面を設定できる教材である。また、過程においては、議論や話し合いの場を設定するのに適した教材でもある。

〈指導観〉

「知る」→「考える」→「行動する」につながるようグローバルな視点を身につけさせたい。将来にわたって世界の問題を自分事としてとらえ、世界の幸せのために自分ができようを探し続けるような生徒を育てたい。また、他者と協働する態度を養いたい。実生活や実社会の中で生きて働く力を育む一助となるよう課題解決的な学習を進めていきたい。

04 | 展開計画（全15時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
1	1次【世界を知ろう】 はじめに まずは姉妹都市クイズから 詳細：19ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの半年間の学習内容を知る。 ・フォトランゲージで「白山市の姉妹都市」クイズをする。 	<ul style="list-style-type: none"> *ワークシート *白山市の姉妹都市の写真
2	1次【世界を知ろう】 探検しよう みんなの地球① なぜ、今、国際理解が大事な の？ 詳細：22ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・フォトランゲージで世界の国クイズをする。 ・「国際理解」という中心ワードからブレインストーミングをする。 ・これから調べてみたいことや考えてみたいことを挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> *世界の国の写真9枚 *付箋
3	1次【世界を知ろう】 探検しよう みんなの地球② 開発途上国の現状を知ろう 詳細：24ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「一度旅をしてみたい国」「友達がいたらいいなあと思う国」「ずっと住んでみたい国」を挙げ、その理由を書く。 ・スライドを見て、自分たちが挙げた国は「先進国」と「途上国」、どちらに入っているか分類する。 ・スライドを見て3つの問いについて考える。 ・「国際理解」の資料を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> *スライド 5才未満児の死亡率やハンガーマップなどが載っているパワーポイント資料 *「国際理解教育とは」資料
4	1次【世界を知ろう】 Needs or Wants? 詳細：30ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・無人島で暮らすとしたらどのアイテムを持っていくか。ダイヤモンドグラムを用いて、優先順位をつける。 ・選んだアイテムを「生活」「医療」「教育」に分けてみる。 ・気づいたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> *ダイヤモンドグラム（班に1つ） *アイテムカード（班に1セット）
5	1次【世界を知ろう】 字が読めないってどんなこと？ 詳細：34ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語で「水」「毒」「薬」と書かれたラベルが貼られた3つのボトルを用意する。 ・世界の識字率を知る。 ・字が読めないとどんなことが起こりうるか、考えたことや気づいたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> *3つのペットボトル（水・塩水・いろはす） *識字率の世界地図
6	1次【世界を知ろう】 私たちの生活とアフリカの つながりを考える 詳細：37ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・18個のアイテムの中からアフリカとつながっているものを見つける。 ・スマホの裏側について知る。 ・気づいたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> *18個のアイテムワークシート
7	1次【世界を知ろう】 私たちの生活と熱帯雨林の つながりを考える 詳細：40ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯雨林クイズをする。 ・パーム油について知る。 ・パーム油が使われている製品を知る。 ・私たちの便利な日常生活と熱帯雨林の消失が密接につながっていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> *ポテトチップスやカップラーメンなどの実物
8	1次【世界を知ろう】 私たちの生活と熱帯雨林の つながりを考える 詳細：44ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯雨林をこれ以上伐採しないようにするには何ができるか考える。 ・パーム油農園で働くミーナちゃんの話を知る。 ・ミーナちゃんを助けるために何ができるか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> *油ヤシプランテーション、油ヤシの実などの写真

9	2次【負の連鎖を断ち切るために】 貧困の負の連鎖を知ろう 詳細：47 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・貧困の負の連鎖を知る。 ・負の連鎖を断ち切るための方策を考える。 	* 負の連鎖を考えるための8枚のカード・班用の負の連鎖を書き込むワークシート (班に1セット)
10	2次【負の連鎖を断ち切るために】 本時 地球大統領選挙に出よう！ マニフェスト・政策を考える 詳細：49 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・「より良い地球国」を作るために地球大統領選挙を行うことを知る。 ・どんな方策をとれば地球はより良くなるか考え、マニフェストを練る。 ・マニフェストの理念を考え、それをもとに4つの省(役割)に分かれ、それぞれの省で取るべき政策を考える。 ・理念に合わせてイメージカラーやイメージ図も盛り込んでポスターを作成する。 	* シンキングツールとなるワークシート
11	2次【負の連鎖を断ち切るために】 地球大統領選挙を実施！ 詳細：51 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・地球大統領選挙を実施し、1つに投票する。 ・それが良いと思った理由を述べる。 ・出てきた案が未だに実現していない理由を考える。 	* 各班で作成した発表用の模造紙
12	3次【ともに生きる 地球の未来】 SDGsを知ろう 詳細：53 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsという世界が掲げている開発目標を知る。 ・司書のブックトークを聞いて、SDGs 17のゴールの中から1つ調べ学習を行うゴールを決める。 	* 国連のパワーポイントを生徒用に作り直したものを使用する(60枚のスライド)
13	3次【ともに生きる 地球の未来】 世界に存在する課題について調べる 詳細：53 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは「現状」「原因」「解決のために何ができるか」という観点で作成することを知る。 ・課題を決め、調べ学習を行う。 	* 調べ学習を行うための図書館などからの資料
14	3次【ともに生きる 地球の未来】 自分なりの未来への提案を考えよう 詳細：53 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・解決方法を探る。 ・個人レポートにまとめる。 	* 参考文献の書き方マニュアル
15	3次【ともに生きる 地球の未来】 SDGs発表会 詳細：54 ページ	<ul style="list-style-type: none"> ・ワールドカフェ方式で発表会を行う。 	

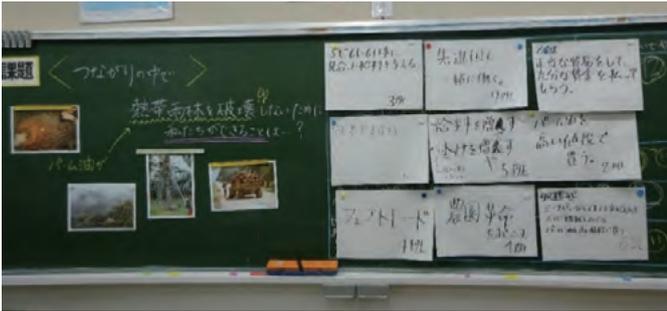
05 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点(支援)	資料(教材)
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの振り返りをする。どんな問題がありましたか? ・みなさんの感想は…… 「世界は不平等すぎる!」 「なんとかしなければ」 「なにができるかな……」 ・世界の不平等さ貧富の差をどうしたらなくせるか本気で考え、マニフェストを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの生活は、今、地球に生きる他の地域の人々とも密接につながっていることを確認する。 ・黒板に前回の紙を貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の紙
展開 (20分)	<p style="text-align: center;">より良い「地球国」にするには?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人で1チームとして「地球大統領選挙」に立候補する。 ・そのためにマニフェストを作る。 【思考活動：1】 ・グループで「どんな地球国にしたいか」話し合っって中心の理念を決める。 【思考活動：2】 ・班でそれぞれの担当を分け、「文部科学省」「貿易経済省」「保健人権省」「環境食料省」の4つの役割に分かれて考える。 【思考活動：3】 ・担当ごとに集まって話し合う。 ※エキスパート活動 	<p>【4人班の活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. まずどんな「地球国」を実現したいか考える。 2. 担当を分けて、各担当で考える。 3. 考えを共有する。 <p>※一度思考したあと、エキスパート活動を取り入れる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 各班の同じ担当ごとに集まって考えを出し合う。 5. 元の班に戻って考えをシェアし、ブラッシュアップする。 6. 班ごとにマニフェストを練る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・シンキングツール
(10分)	<p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4人班で考えを共有する。 ・考えをブラッシュアップする。 ・マニフェストを練る。 		
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表を聞く。 ・今日の授業を通して自分が感じたことや考えたことを書く。 <p style="text-align: center;">(例) 改めて「平等」な世界の実現を目指せたら良いなと感じた。できることは意外にたくさんあると思った。</p>		

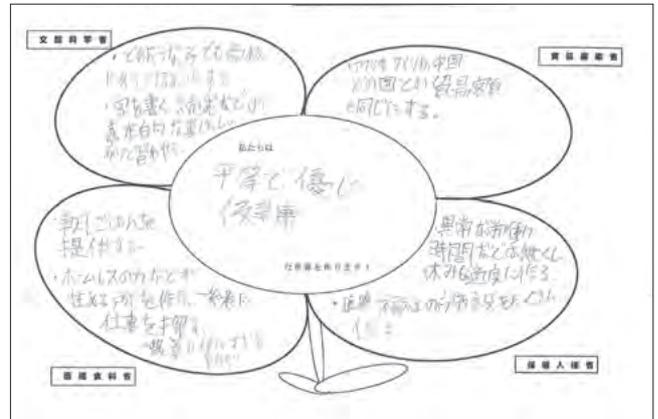
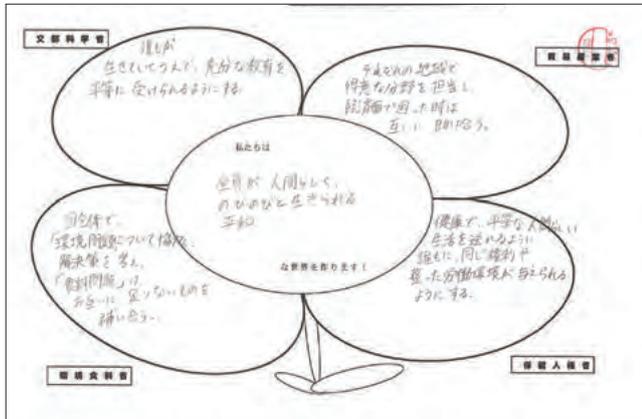
≫ 授業実践の様子

*熱帯雨林の破壊に自分たちの日常生活が関わっていることを知り、「個人」「家庭」「学校」「国や世界」レベルで、「すぐに」「1年以内に」「50年以内に」それぞれ何かできることはないか考える。

*途上国の「負の連鎖」を考え、どうすれば断ち切れるかを話し合う。

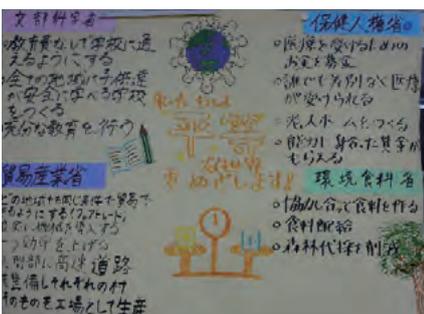
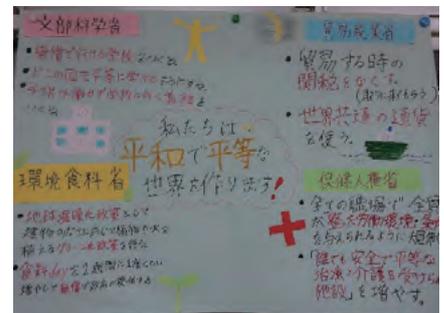
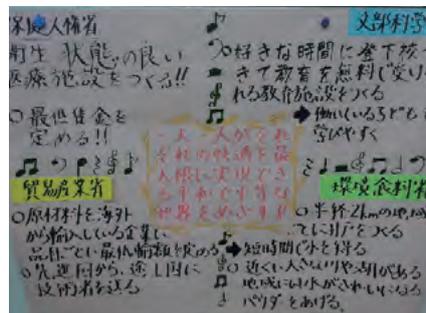


* 「より良い『地球国』にするにはどんなことができるか?」班で「地球大統領選挙」に立候補するとして、各省庁担当に分かれて政策を練り、その後班全員で話し合ってブラッシュアップする。



* 実現したい理想の地球をイメージしたカラーやイラストを工夫して盛り込みManifestoを作成する。

* 「地球大統領選挙」を実施する。Manifestoを前にPRする。

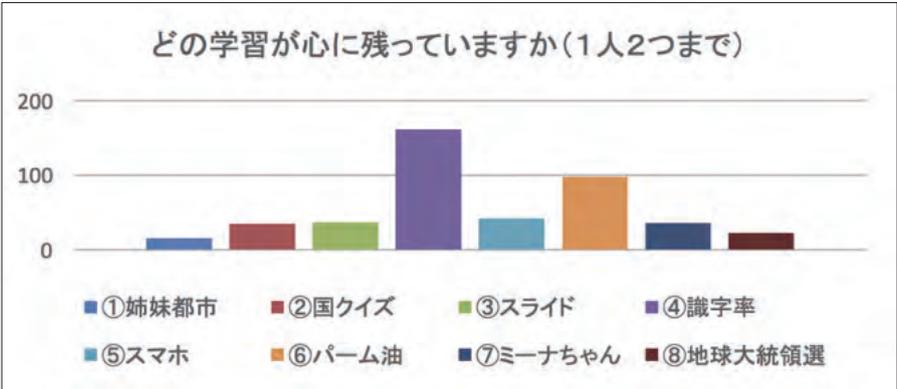


理由 私の知らないことがたくさんあって、それがいよいよ世界に拓くためには、今の現状を
理解することが大切だと感じたから。日本だけじゃなく発展途上国がより
豊かになる生活ができてより私たちが暮らすこともよくなるから。

理由 普段日本で生活していると、自分とは違う国、特に発展途上国
についてはあまり知らないけど、実際すごく関係していて、私たちが
人ごとじゃないということを知れたから。

理由 17では「人々を平等に、お「平和」を築いていってあげよう」ということで、私たちの
くらしと他の国々のくらしのちがいを発見していくと、私たちの当たり前が、共通ではないことに
改めて気づくことができて、より深く、世界としての問題点を理解できたと思いました。

理由 これらの学習を通じて、今まで自分が思っていた以上に世界の環境状況がとて
危険な状態にあることや識字率のあまりの低さにとても驚いたし、どうにかし
なければならぬと危機感や責任感を感じたから。



「国際理解」の学習でどの学習が心に残っているかを尋ねた結果である。「自分の食卓や自分の日常生活」が世界とつながっていることを生かした教材は、こちらが意図した通り、生徒にも印象強いことがわかる。

「国際理解の学習を通して、自分の感じ方や考え方がどのように変わりましたか」という設問に対しての生徒の記述は以下のようなものである。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

以前は、アフリカの子供たちが学校に行けていない問題や世界には
貧しい暮らしをしている人がたくさんいることは知っていたけれど、もっとその問
題について考えることが少なかった。でもこの学習でアフリカと私たちに
たくさんつながりがあり、その問題には私たちに関係のないことでは
ないことがわかった。なのでもっと平和になるように考えていきたいと思えた。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関心や考え方が変わったか。

自分達の日本という国だけでなく世界全体の本当に細かな所にも地球に関わる問題が起きていることを知って視野を広げて、日本から世界に向けていくことが大切だとこの風を感じた。でも、自分達は世界全体の問題を全て解決できるかは指していないから、日々の生活が変えていけるようになっていこうと感じた。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関心や考え方が変わったか。

違う国に暮らしている人のことは今まで何も考えたことがなかった。和洋とは関係ないと思っていたけれど、今回の学習を通して前より世界を身近に感じるようになった。和洋とも関係があることと似たこと、ということがわかった。世界で起きている問題は、和洋自身の問題ではない。しかしと向き合、どうすればいいよるか考えなければいけないと思った。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関心や考え方が変わったか。

以前は、世界より日本内だけ見て何かしら思っていた。けれどこの学習を通して、少しずつ日本内だけでなく世界を見るようになって、日本以外の国がたいていあるんだということを感じた。それに学校に行かない人やご飯をたべない人もいることがわかった。このようなことを分かったのでも、次からは私一人からなごせして、少しでも発信したいと思った。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関心や考え方が変わったか。

前までは世界のことをよく知らなかったけど、この学習を通して私達と世界の関わりとか今の世界の現状とかを知って、世界の人たちは私達みたいには暮らしていない人がたいていいるんだなと思いました。これからは世界のためにもパーム油が入っているおかしなどもあまり買わないようにしたり、ボラティアなどにも参加したいなと思いました。自分が世界の人たちのためにできることを見つけたいです。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関心や考え方が変わったか。

他の国はその国の環境のせいで貧しい思いをしているから、かわいそうだけど、日本には関係ないと思っていたけど、その国を苦しめている中に日本も含まれているとわかって、すごく罪悪感を感じました。私一人で何かをしたって何も変わらないと思っていたけれど、総合の時間を通して、自分にもたかさんできることがあることを知って、一人で取り組まなくてもいい、味方を増やしていけば絶対に何かが変わると思うことができた。

「より良い社会を目指して参画する態度」を育てたいと願ってこの学習を進めてきたが、少しずつではあるが、生徒の中にそのような態度が育っていることが分かった。

≫ 単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲

この学習を通して「もっと世界のいろいろなことを知りたくなった」という記述が一番多く見られた。違いを比べ「自分が自由に学習できる環境にいる」ということを捉え直した生徒も多かった。「受験勉強で不満を抱いていたが、ぜいたくな悩みだと捉えるようになった」「勉強できることが幸せなことだと思うようになった」という。また、「自分の見方・考え方」に関しても、「相手の立場になって物事を考えるようになった」「自分の当たり前は当たり前ではないと自覚するようになった」「知るから考えて行動できるのだ」など、考え方が変わったという生徒も多く見られた。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

この学習を通して、以前は、世界の国々についてあまり知らなくて、
「国際理解」になじみがない、たけれど、いろいろな国の状況を
知ることが出来て、そして途上発展国の人のために何か出来るかというこ
を考えられるようになったり、物事の視野が広がることに対して思っています。
これからいろいろなことを知りたくなりました。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

以前は、勉強が嫌いだった。将来、国教分解も使う所な
らう。だからもう勉強が嫌いじゃない。という気持ちが
世界の見え方も見え、世界には自分も楽しむ人もいない人も
いることも知り、自分が日本も楽しんでいる人はそういう人が
たから、自分も楽しむことが出来るものだと思った。そして、自分が
楽しむことが出来る日本に生まれてよかったと思う。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

物事を他人事ではなく、自分だからどうするかを考えた。
その人の立場から、自分としてどうするかを考えたように
なりました。自分の考えと他人の考えを一緒に
して深く考えたり、他人の考えで自分の考え、見方
をおおくしたりできたのが良かったと思います。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

自分の感じ方が日本の中でたまたまという感じ方だった
が、それが世界の中でたまたまという感じ方、たまたまという考え方に
変わりました。そういう考え方をすると自分が見えていた場所
の範囲が広くなり、特定の場所だけでなく、もっといろいろな
場所に関心するようになったと思います。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

自分だけが当たり前だと思っていたことも、当たり前じゃ
ないもして、その人の気持ちになって考え方を考えること。
自分のことを考えるのではなく、他人の気持ちになっ
て物事を考えること。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

この学習を通して以前は心に感じたなどと言う感覚を止めていたのですが、この学習で心に感じた、などと言うのはいいのかなどと感じただけでなく感じるいろいろな考えを出すことが出来るようになったと思ったのでこの学習を通して感じただけでなく感じた→いろいろな考えに成長したと思いました。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

いさよの問題がある中で、自分の意見を言うことが大切だと思いました。木中心で社会は進んでいるけど、子ども達の意見や、自分たちと違う意見も聞き入れることで平等な世界をつくらせようかもしないとも思いました。いろいろな見方をして、いろいろな考え方をもちることが大切だと思えます。

学習を進める中で「自分の意見を述べるのが大切だと分かった」「自分と違う意見も同じように大事にすることでもっと良い意見になる」「数学や理科のように答えはないけれど、答えのない問いに対して自分自身で考える力を働かせるのが大切だと分かった」という大切な気づきもたくさん見られた。

≫ 途上国・異文化への意識の変容について

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

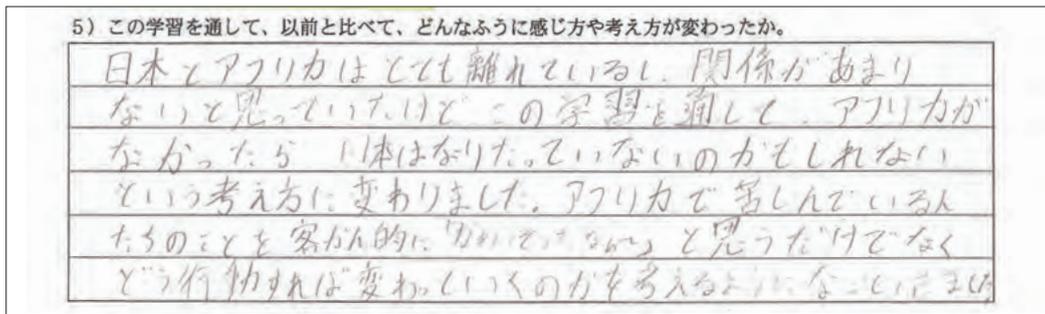
世界のいろいろな問題に対する、今までの自分との考え方が変わった。今まで、自分と世界で起こっているたくさんの問題は、自分とは遠い存在だと考えていたためあって、学習をすることによって自分とそう離れていないと実感した。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

前は、日本と発展途上国の関係はそれほど深くは思い込んでいたけど、学習を通して、深い関わりがあると感じた。日本はよく知っている一方で、発展途上国は、細身がわかるくらいびっくりした。私は、今自分が出来ることはたくさんあると思うので、少しでも世界のために、力を付けようと思った。

5) この学習を通して、以前と比べて、どんなふうに関わり方や考え方が変わったか。

今まではなんとなく知らなかったことも、この学習で理解が深まった。また、同じ地球に暮らしているのに全く生活が違った。私が使っている物にも、発展途上国の人たちが作ったものを使用されていると知り、そういう人たちにも助けられているのだと感じた。またそれぞれの国では、私たちがいるような子どもたちも働いていて、勉強ができたくらい貧しい環境にいて知ってからは自分達にできることを考えたいので、実行したいと思った。



「途上国と日本は深く関わっていることが分かった」という生徒が多かった。家で自分が使っているスマホや携帯ゲーム機を使うときの気持ちが変わったとか、ポテトチップスを以前と同じ気持ちでは食べられなくなった等という記述もあった。そして、「日本はいろいろな国に助けられている」と考えるようになったという生徒が多かった。「だから日本も世界の国を助けないといけない」「もっと良い世界になるよう行動したい」という考えもたくさん書かれていた。

この学習を通して、生徒はそれぞれ、自身の中での変化があったと述べている。その変化が将来につながっていくものと期待して、これからの授業も続けていきたい。

08 | 自己評価

≫ 1. 苦労した点

- ・同学年の担任の先生方が同じ授業を実施する想定であったため、単元構成を考える際には、サモアで見聞きしたことから問題を述べるという個人的な経験に終始するのではなく、普遍性をもった国際理解教育へ一般化するためにはどうすればよいか悩んだ。
- ・答えのない問いを考える授業展開なので、誰でもできる使用する指導案を作成することが難しかった。生徒から出る答えを予想し、どのように切り返すか、という点まで指導案に記載できなかった。
- ・中学校の強みである教科専門性を生かしきれなかった。社会科や英語科教員と話し合いながらカリキュラムや指導案を立てることができれば、単元計画の途中においてTTの授業展開が実現できたかもしれない。
- ・「幸せ」「豊かさ」についての議論も考えたが、観念的なものにならないようにしたいという思いが強くなり、軌道修正した。「支援」というのも個人レベルでできることや国レベルでできることが違って難しいと感じたので「社会に参画する態度」を育てることを主眼とした。
- ・多様な人、多様な立場で議論することを単元計画の中でもう少し取り入れることができればよかった。

≫ 2. 改善点

- ・「知る」→「考える」→「行動する」という段階が必要なので、1学期からカリキュラム構成を整えることが肝心である。中学三年に「国際理解」のテーマは適切な内容だと思うので、「松中スタイル」のような総合的な学習の時間のカリキュラムが確立されるとよい。
- ・来年度以降も実施してもらうには、誰もが実践できる、一般化された指導案に手直ししていく必要がある。その際には、教科専門性も生かせるように役割を配慮できることが理想である。
- ・学校の教育活動の中に定着させていくには提案と共通理解が必要不可欠である。職員会議や学年会への提案はできるだけ具体的、なおかつ簡潔に行い、まずは教員がチームになって協同的に実践を続けていければよいと思う。
- ・今回、1クラスだけ、仁田所長と武田さんから貴重な感想をいただくことができた。多様な立場・年齢の人から、直接的にお話を伺う機会は今後のアクティブ・ラーニングにおいて大事なことだと考えている。また、抽象的な話をいかに具体化していくか、身近なものへと転換していくかということも大切なことだと考える。だから、予め、カリキュラムの中に国際交

流員の方やジャイカボランティアの方から話を伺う場面の設定を取り入れることが望ましい。その際には、管理職に承認していただき、年度当初から予算を立てておくことが必要である。

≫ 3. 成果が出た点

- ・同学年の若い担任の先生方も協力的で積極的だったため、学年全体で、すべてのクラスでほとんど同じ授業内容を実施することができた。
- ・学期を通して、どのクラスも「国際理解」というテーマで継続的に授業を展開することができた。
- ・全体計画の見直し、単元計画、1時間ごとのワークシートと略案を作成できたので一例として次年度に残すことができる。

≫ 4. 担当クラス以外での実践・報告について（内容・対象人数）

- ・同学年他クラス（計7クラス）で本単元の授業（計 15 時間）を各担任が実施

対象人数：36 名×7クラス

- ・学校図書館でサモアに関する工芸品と国際理解に関する図書を展示

対象人数：全校生徒（計 863 名）と教職員（計）

- ・報告書で還元

対象：教職員

≫ 5. 備考（授業者による自由記述）

同学年の他クラスの担任がこの単元の授業を実施した感想

- ・知らないことを教えるのは難しいと感じた。道徳的な授業になることもあった。でも生徒と一緒に学べて楽しかった。生徒は考える視野が広がっていった。
- ・個人的にとっても興味深いテーマだったが、教師自身の知識不足が大きく、話題を掘り下げることが必要だったがなかなか上手くできず悔しい。「世界は不平等だ」というネガティブな印象を生徒に与えてしまったかもしれない。
- ・サモアでの体験がほとんど表に出てこないことがもったいないと感じた。国別や地域別で担当ということがあってもよかった。できれば自分は東南アジアを担当したい。
- ・英語科では、1学期にはフェアトレード、2学期には人種問題、3学期にはマララ・ユスフザイさんのスピーチを扱う。社会的なテーマが、いろいろな教科で関わっているので、横断的な学習となつてよいと思う。
- ・英語で学んだフェアトレードと繋がっていると感じた生徒が多かった。パーム油は日本でも需要が高くたくさん輸入されているのに作った人がもうからないのはなぜか、変だなどという感想があった。
- ・食べ物（特に普段、生徒たちが口にしている物）を扱う授業はインパクトがあった。実物を使う授業は、一番、印象に残っているのではないかと思う。
- ・熱帯雨林の消失の授業で、2分間で某テーマパーク分の面積が消失していると話すと生徒は驚いていた。規模が大きい話だとイメージしやすい例を示すと良いと感じた。
- ・ミーナちゃんへの支援など、具体的に考える点は良かったが、募金という意見が多く、そのお金を「誰に使うのか」「何に使うのか」まで深めることができなかった。自分事にとらえる=自分たちにもできる支援ではないので、立場によってできることが違うので立場でしっかりと考えさせたい。
- ・国際理解教育は本当に幅広いテーマだと思うので、毎月1つのトピックを扱い、その問題に対して自分たちができることは何か探る、という型を作るのはどうだろうか。

例) ①導入・ゲーム等→②問題の掘り下げ→③私たちの生活との比較→④私たちにできること

【添付資料】

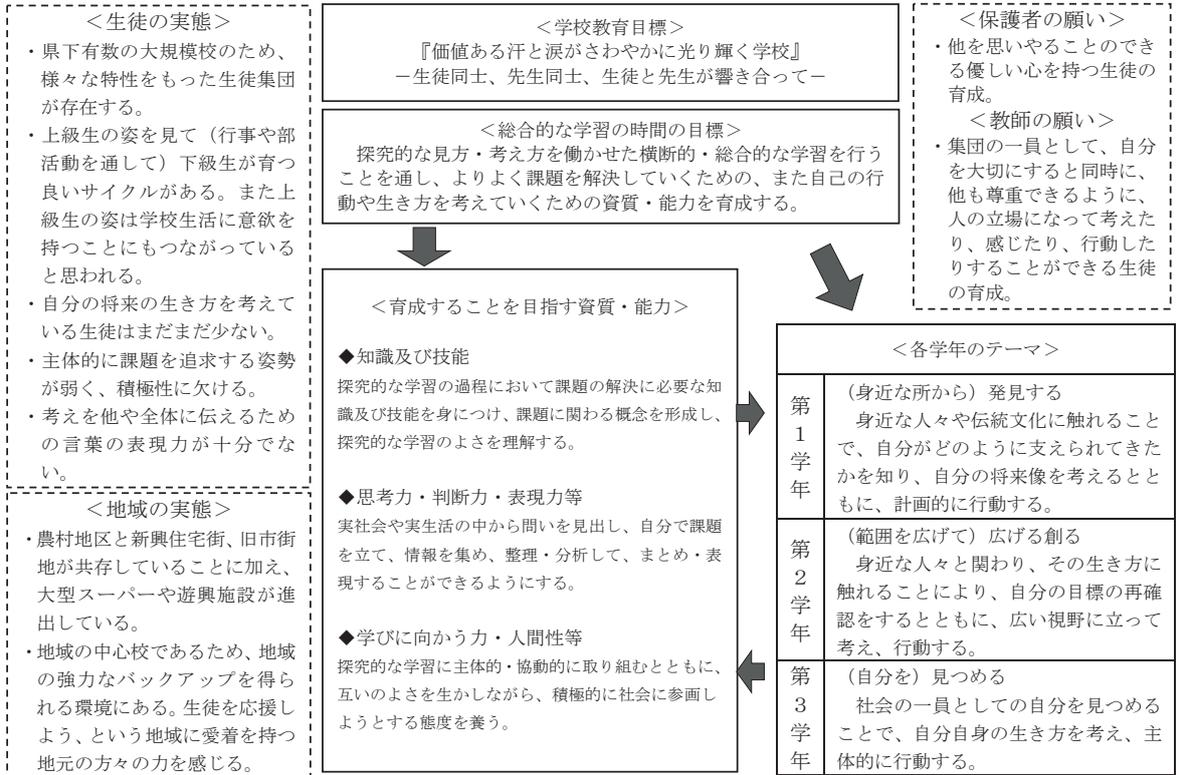
(次ページ以降参照：ワークシート、略案、資料など)

【参考資料】

- ・「アフリカローズ 幸せになる奇蹟のバラ」 萩生田愛，ポプラ社，2017年
- ・「ゾウの森とポテトチップス」 横塚眞己人，そうえん社，2012年
- ・「未来を変える目標 SDGs アイデアブック」 Think the Earth，2018年
- ・「スマホから考える 世界・わたし・SDGs」 開発教育協会，2018年
- ・「パーム油のはなし～「地球にやさしい」ってなんだろう？」 開発教育協会，改訂版 2016年
- ・「マジカルバナナ v3」 地球の木，改訂版 2010年
- ・「コーヒーカップの向こう側 改訂新版」 開発教育協会，改訂版 2015年
- ・「新 貿易ゲーム 経済のグローバル化を考える」 開発教育協会，改訂版 2009年
- ・「国際理解教育実践資料集～世界を知ろう!考えよう!～」 埼玉県立総合教育センター監修，国際協力機構（JICA）地球ひろば，2015年
- ・JICA 地球ひろば <http://www.jica.go.jp/hiroba>
- ・文部科学省 <http://www.esd-jpnatcom.mext.go.jp>

総合的な学習の時間

総合的な学習の時間 全体計画



		第1学年	第2学年	第3学年	
探究課題		<ul style="list-style-type: none"> ・調べ方を学ぶ。 ・働くことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わが町白山の良さを金沢の町づくりから学ぶ。 ・職業を知り、また働く人の夢や願いを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西研修における課題を設定し、探究する。 ・社会に目を向けて課題を発見し、自分の生き方を考える。 ・職業の選択と社会への貢献を考える。 	<p>＜学習の評価＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作文や作成したレポートなどの制作物や振り返りのワークシートなどを利用し、生徒の良い点や進歩の状況を積極的に評価する。 ・指導の過程や成果について評価する。
育てようとする資質・能力	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な課題について解決の仕方が分かる。 ・目標を持って学ぶことの大切さが分かる。 ・身近な人の職業観から働くことについて分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢の町づくりの特徴が分かる。 ・勤労や体験の探究的な学習から様々な職業について分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な課題の解決の仕方を身に付けている。 ・進路の学習から、現在及び将来の自己の生き方について考えるための方法が分かる。 	<p>＜指導方法＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習や異年齢集団による学習など多様な学習形態を工夫し、他人の意見を取り入れたり、自分の意見を伝えたりする学習を行う。 ・外部の人と接するときのマナー指導を徹底する。 ・課題意識を喚起させ、情報収集、整理・分析、まとめ・表現と、学習の過程を経由するように工夫する。
	思考力・判断力・表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・問題状況の中から課題を発見し、設定する。 ・必要な情報を収集し、得た情報を比較したり関連づけたりして整理する。 ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じて手段を選択し、必要な情報を収集・分析する。 ・相手や目的に応じて論理的で効果的な表現を工夫する。 ・学習を振り返り、今後の学習や生活にいかそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な方法からより効率的・効果的な手段を選択し、確かな根拠を持って分析をする。 ・論理的で効果的な表現を工夫する。 ・学習を振り返り、今後の生き方につなげる。 	
	学びに向かう力・人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる意見や他者の考えを受け入れて尊重しようとする。 ・探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などを持つようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動しようとする。 ・異なる立場の人や文化に進んで関わろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、目標を持って、課題の解決に向けた探究に取り組もうとする。 ・探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。 	<p>＜指導体制＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて外部人材を活用する。 ・生徒の学習状況に応じた柔軟的な指導体制をとる。

3年 総合的な学習の時間

〈テーマ〉【国際理解】

〈単元名〉世界に目を向ける「Share Happy? ～ともに生きる 地球の未来～」

〈目標〉

- ・国際的な問題やその内容に触れ、持続可能な開発・発展のための視点を認識する。【知識・技能】
- ・多角的な視点から情報を分析したり課題の解決方法を探ったりしながら、世界の問題の解決のために何ができるかを考える。【思考力・判断力・表現力】
- ・学習を通して豊かな人間性や社会性を養い、またグローバルな視点を身につけ、進んで実社会に参画しようとする態度を育む。【学びに向かう力・人間性】

〈評価の観点〉

- ① 知識・技能
- ② 思考力・判断力・表現力
- ③ 学びに向かう力・人間性

詳細は別紙提案

〈学習の注意点〉

* 探究的な学習を行う

* 3つの配慮事項

1) 他者と協働

- ・多様な立場の他者と
- ・多様な意見をやりとり
- ・双方向のコミュニケーション

2) 言語による表現

- ・情報の整理や分析の場面で
- ・レポート作成やプレゼンの場面で
- ・聞き手になった場面では質問やアドバイスを

3) 考えるための技法

- ・多様な考え方（比較、分類、関連づけなど）を意図的に
- ・実社会・実生活の場面でも活用できるように
- ・他教科で身につけた力も横断的に

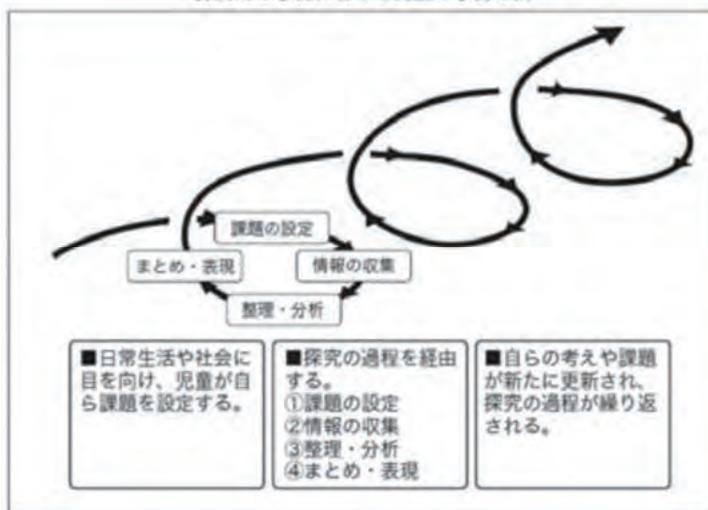
〈学習の流れ〉

* 第1次：世界の諸問題を知る

* 第2次：「自分事」としてとらえ、解決方法を考える

* 第3次：個人でレポートにまとめる、掲示

探究的な学習における児童の学習の姿



9月からの単元構想				
次	時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材・資料
1	1	【世界を知ろう】 はじめに まずは姉妹都市クイズから	<ul style="list-style-type: none"> • これからの半年間の学習内容を知る。 • フォトランゲージで「白山市の姉妹都市」クイズをする。 	<ul style="list-style-type: none"> * ワークシート * 白山市の姉妹都市の写真
	2	【世界を知ろう】 探検しよう みんなの地球① なぜ、今、国際理解が大事な の？	<ul style="list-style-type: none"> • フォトランゲージで世界の国クイズをする。 • 「国際理解」という中心ワードからブレインストーミングをする。 • これから調べてみたいことや考えてみたいことを挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 世界の国の写真 9枚 * 付箋
	3	【世界を知ろう】 探検しよう みんなの地球② 開発途上国の現状を知ろう	<ul style="list-style-type: none"> • 「一度旅をしてみたい国」「友達がいたらいいなあと思う国」「ずっと住んでみたい国」を挙げ、その理由を書く。 • スライドを見て、自分たちが挙げた国は「先進国」と「途上国」、どちらに入っているか分類する。 • スライドを見て3つの問いについて考える。 • 「国際理解」の資料を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> * スライド 5才未満児の死亡率やハンガーマップなどが載っているパワーポイント資料 * 「国際理解教育とは」資料
	4	【世界を知ろう】 Needs or Wants?	<ul style="list-style-type: none"> • 無人島で暮らすとしたらどのアイテムを持っていくか。ダイヤモンドグラムを用いて、優先順位をつける。 • 選んだアイテムを「生活」「医療」「教育」に分けてみる。 • 気づいたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> * ダイヤモンドグラム (班に1つ) * アイテムカード (班に1セット)
	5	【世界を知ろう】 字が読めないってどんなこと？	<ul style="list-style-type: none"> • 外国語で「水」「毒」「薬」と書かれたラベルが貼られた3つのボトルを用意する。 • 世界の識字率を知る。 • 字が読めないとどんなことが起こりうるか、考えたことや気づいたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 3つのペットボトル (水・塩水・いろはす) * 識字率の世界地図
	6	【世界を知ろう】 私たちの生活とアフリカのつながりを考える	<ul style="list-style-type: none"> • 18個のアイテムの中からアフリカとつながっているものを見つける。 • スマホの裏側について知る。 • 気づいたことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 18個のアイテムワークシート
	7	【世界を知ろう】 私たちの生活と熱帯雨林のつながりを考える	<ul style="list-style-type: none"> • 熱帯雨林クイズをする。 • パーム油について知る。 • パーム油が使われている製品を知る。 • 私たちの便利な日常生活と熱帯雨林の消失が密接につながっていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> * ポテトチップスやカップラーメンなどの実物

次	時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材・資料
1	8	【世界を知ろう】 私たちの生活と熱帯雨林のつながりを考える	・熱帯雨林をこれ以上伐採しないようにするには何ができるか考える。 ・パーム油農園で働くミーナちゃんの話聞く。 ・ミーナちゃんを助けるために何ができるか考える。	* 油ヤシプランテーション、油ヤシの実などの写真
2	9	【負の連鎖を断ち切るために】 貧困の負の連鎖を知ろう	・貧困の負の連鎖を知る。 ・負の連鎖を断ち切るための方策を考える。	* 負の連鎖を考えるための8枚のカード・班用の負の連鎖を書き込むワークシート（班に1セット）
	10	【負の連鎖を断ち切るために】 地球大統領選挙に出よう！ マニフェスト・政策を考える	・「より良い地球国」を作るために地球大統領選挙を行うことを知る。 ・どんな方策をとれば地球はより良くなるか考え、マニフェストを練る。 ・マニフェストの理念を考え、それをもとに4つの省（役割）に分かれ、それぞれの省で取るべき政策を考える。	* シンキングツールとなるワークシート
	11	【負の連鎖を断ち切るために】 地球大統領選挙を実施！	・地球大統領選挙を実施し、1つに投票する。 ・それが良いと思った理由を述べる。 ・出てきた案が未だに実現していない理由を考える。	* 各班で作成した発表用の模造紙
3	12	【ともに生きる 地球の未来】 SDG sを知ろう	・SDG sという世界が掲げている開発目標を知る。 ・SDG s 17のゴールの中から1つ調べ学習を行うゴールを決める。	* SDG sを理解するための本や資料
	13	【ともに生きる 地球の未来】 世界に存在する課題について調べる	・レポートは「現状」「原因」「解決のために何ができるか」という観点で作成することを知る。 ・課題を決め、調べ学習を行う。	* 調べ学習を行うための図書館などからの資料
	14	【ともに生きる 地球の未来】 自分なりの未来への提案を考えよう	・解決方法を探る。 ・個人レポートにまとめる。	* 参考文献の書き方マニュアル
	15	【ともに生きる 地球の未来】 SDG s 発表会	・発表会をする。	



【3年】 9月10日（月）6限目 : 各クラス

★ねらい：今後の学習テーマを知り、最後まででの見直しを持つ。

時間	内容	教師の動き																														
導入 5分	① 2学期からの「総合的な学習の時間」についてお話しします。 学習テーマは「国際理解」です。 ② 1年生では「太鼓や狂言など地元の芸能」「金沢研修にむけて金沢のこと」を学びました。 2年生では「地域の職場でかけて地域の仕事を知る」「修学旅行にむけて関西について知る」ことをしました。 3年生では金沢と関西を比較して良さをみつけました。 どんな視野が広がってきたのがわかりますか？ 次は日本を出て世界へ目を向けていてほしいと思います。 ③ ……といっても必ずすかしいのでまずはクイズです。 ④ 第1問「白山市の姉妹都市はいくつあるでしょうか？」 *答えは6つ（国内1、国外5） →黒板に地図を貼る。6つと知った後、ワークシートを配布する。 →○番〇国、都市名は○	● 地元→地域→関西→世界という視線の広がりを実感させる。 ● 自由な発言をする雰囲気を作ります。																														
10分	⑤ 第2問「次のA～Fの写真は、その6つの国のうちどれか？そう判断した理由は何か？」 →黒板に写真を貼る。 ⑥ 6人グループになる。 ・A～Fの写真を3分ずつ回す。（3分×6回） ・そのように判断した理由を書かせる。	● 先生はタイムキープをする。 ● 写真を次ほどの強に渡せばよいが指示する。 (順番例) 																														
展開① 20分	⑦ 班ごとに答えを黒板に書く。 (例) <table border="1" style="display: inline-table; margin-left: 20px;"> <tr><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>1班</td><td>B</td><td>D</td><td>E</td><td>C</td><td>...</td></tr> <tr><td>2班</td><td>A</td><td>D</td><td>B</td><td>C</td><td>...</td></tr> <tr><td>3班</td><td>B</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td><td>...</td></tr> <tr><td>...</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	①	②	③	④	⑤	⑥	1班	B	D	E	C	...	2班	A	D	B	C	...	3班	B	D	E	F						
①	②	③	④	⑤	⑥																											
1班	B	D	E	C	...																											
2班	A	D	B	C	...																											
3班	B	D	E	F	...																											
...																																
10分	⑧ そう判断した理由を発表する。 ⑨ 答え合わせをする。																															
まとめ 5分	⑩ 次のワークシートを配布する。 これからの学習のテーマを知る。 これからの学習の目標を知る。 これからの学習の流れを知る。 最後は1人1レポート（卒業レポート）を作成することを知る。	◎ワークシート2枚をポケットファイルに綴る。																														

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」 No.1

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏名

今後の学習について

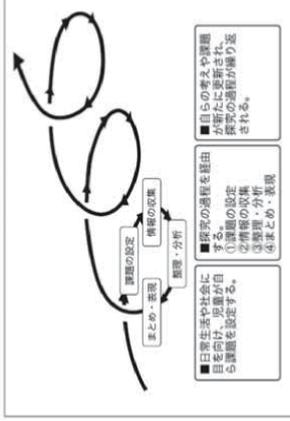
3年【世界を知ろう】

<目標>

・現在、地球上にはどのような問題や課題があるかを知り、その解決にむけた特就可能な開発を行うための視点やグローバルな視点を身につける。

・多角的な視点から情報を分析したり、課題の解決方法を探ったりしながら、国際的な問題の解決のために何ができるかを考える。

・主体的、協働的に課題解決的な学習に取り組み、進んで実社会に参画し社会性を養い、進んで実社会に参画しようとする態度を育む。



<流れ>

- ◇オリエンテーション・白山市の姉妹都市について
- ◇地球にはどんな人々が暮らしているかを知る
- ◇世界の諸問題を「自分事」としてとらえる
- ◇世界における日本の役割を考える
- ◇「負の連鎖を断ち切るために」何ができるかを考える
- ◇SDGsの観点を一人一つ選び、調べ学習をする
- ◇一人ずつ卒業レポート（1人1研究レポート）を作成する
- ※自ら課題を見つけ、研究する。
- ※調べ、まとめ、レポートを作成し、発信する。
- ※三年間の学習をすべて踏まえて、自分の考えをまとめて発信する。

「1人1研究レポート」のテーマ

国際的な問題の解決のため、「『世界の幸せのため』」にどのようなことができるか考え、発信、提言を行う。

3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

Share Happy? ともに生きる地球の未来



松任中学校 3年____組____番

氏名_____

総合的な学習の時間のポケットファイルが届きました！！

(不登校生徒、たけのこ生徒分も入っています)
来ない生徒にも渡してください。何にでも使える
ファイルなので家の人にあげててください。

クラス

番号

氏名

を記名させて、

ファイルの1つめのポケットに

左開き※英語、数学、社会、理科の教科書と同じ向き
で綴らせてください。

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

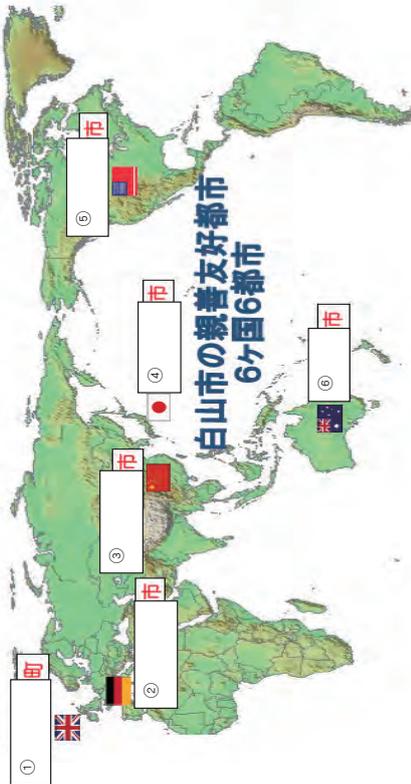
はじめに

Share Happy? とともに生きる地球の未来

組 番 氏名

3年生では「国際理解」に関する学習を行います。世界にはどんな国があって、どのような世界的規模の問題が起きているのでしょうか。世界へとどんな視野をひらいていきましよう。その導入として、まず、みなさんに白山市の姉妹都市について尋ねます。どれくらい知っているでしょうか。それぞれにあてはまる国・都市を選びましょう。その都市の写真もわかるでしょうか。

白山市の姉妹都市を知っていますか？



藤枝 コロンビア ポストン ペンリス 深陽 ウランハイム

- ① 国く イギリス > (ポストン) 町
- ② 国く ドイツ > (ウランハイム) 市
- ③ 国く 中国 > (紅蘇省 深陽) 市
- ④ 国く 日本 > (静岡県 藤枝) 市
- ⑤ 国く 米国 > (ミズーリ州コロンビア) 市
- ⑥ 国く オーストラリア > (ペンリス) 市

☆班で話し合いましよう。

次の写真A～Fはそれぞれ①～⑥のどの姉妹都市か？そう考えた理由も書きましよう。

①	理由	②	理由	③	理由
④	理由	⑤	理由	⑥	理由

感想

.....

.....

.....

.....

マレーシア
ボリビア
オランダ
ケニア

アメリカ合衆国
アラブ首長国連邦
バングラデシュ
エジプト

ロシア連邦
フランス
ガーナ
ネパール

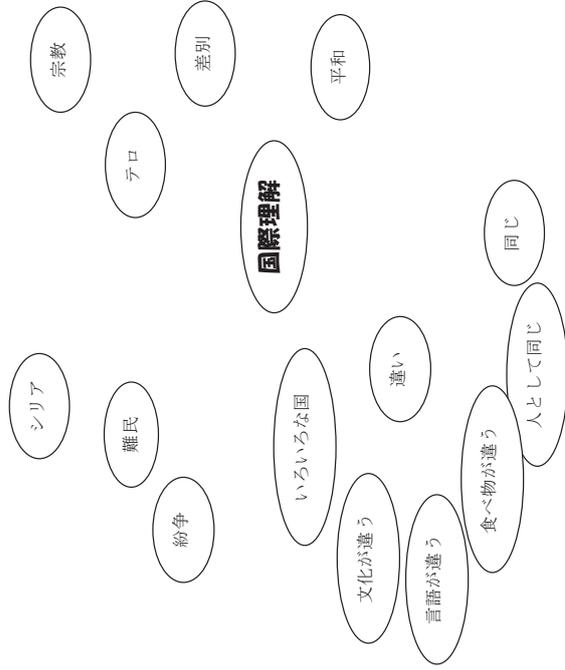
なぜ、今、「国際理解」が大事なの??

これから、総合的な学習の時間では「国際理解」をテーマとして学びます。
なぜ、今、「国際理解」が大事なのでしょう。予想を書きましょう。

予想 (あなたの考え)

それでは、「国際理解」と聞いてどのようなことが頭に浮かびますか。思いつくこと(キーワードなど)をどんどん書いてウエビングしてみよう。

.....「国際理解」って?



*今日の感想、これから調べてみたいこと・考えてみたいことを書きましょう。

.....

.....

.....

【3年②】 9月21日（金）6限目：各クラス

★ねらい：「国際理解」がなぜ大事なのかを理解する。（知る）

★準備物：パソコン、テレビまたはプロジェクター

時間	内容	教師の動き
導入 5分	① 前回に続いて「探検しよう みんなの地球」です。いろいろな国の名前が出てきました。 そこで、 ② 今日にはみなさんにまず、3つのことを尋ねます。 ・一度、旅してみたい国 ・友達がいらないいなあと思う国 ・ずーっと住んでみたい国 です。どの国ですか？あなたの考えを書きましょう。 (ワークシート配布)	● 先生はタイムキープをする。 ★後半、重たいのでさくさくと。 ● 自由な雰囲気的大事にする。
展開1 10分	③ 個人で書かせる。 ④ 友達3人以上と尋ね合って、記入する。 (例) 4人グループ 立ち歩き自由 など ⑤ 発表させて、黒板に書いて共有する。 ★あとで色分けするので黒板に残しておいてください。	
展開2 30分	⑥ ところで、先生は、みんなに、これからスライドを見てもらいたいと思っています。 ★「探検しよう みんなの地球 パワーポイント資料」のスライドを順番に進め、次のポイントで一時的にストップしてください。そして、Q1からQ3についてワークシートに書き込ませてください。 ⑦ あなたが答えた国は青ですか、赤ですか？ →黒板に残っている国名を色分け。青は途上国、赤は先進国。(元データでは日本だけが赤色になっています) Q1：なぜ選んだ国は赤が多いのでしょうか？なぜあなたはその国を選ばなかったのだろうか？青の国の数が多いのに？ →書かせる。 Q2：「生まれる国」は選べないのに、生まれた場所が違っただけ、こんなにも差があることについてあなたはどう感じますか？ →書かせる。 Q3：あなたが何ができるでしょうか？ →書かせる。	★ スライドを見ながら触れられたら・・・ ① 軌跡がある一方で、まだ食べられるものを大量に捨てている現実がある (食品ロス)。その数字。 ② 5歳未満児の死亡率の数字 (1000人中何人が) 死亡の原因は何だろうか？・・・ スライドにある「飢餓、水、紛争・・・」他にもあるんだらうね。 ③ スイスはなぜ徴兵制があるのか？ 永世中立国なので。他国から助けを求められないためすべて自国でまかなひ、戦わないといけない。 ④ 医療レベルはどうなんだろうか？ 日本の医療は最先端ですが・・・原因がわからず何日も高熱に苦しむ国もある。難しい病気が蔓延している国もある (エボラ出血熱、ジカ熱など)。 ⑤ ポケットファイトに際する。(ワークシートと別紙資料)
まとめ 5分	⑦ 「国際理解」の資料を眺む。 こんな力をつけていきましょう。	

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

No. 3

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏名

【探検しよう みんなの地球②】

項目	国名	理由	友だちの考え
一度旅してみたい国	国名 ()	理由	() さん 国 ()
友達がいたらいいなあと思う国	国名 ()	理由	() さん 国 ()
ずっと住んでみたい国	国名 ()	理由	() さん 国 ()

★あなたが書いた国を分けてみよう。多かったのは・・・？

色

① 「国際理解」と言われても…
 という人のためにまずはクイズから！

② **まずは世界の国の数について**
 クイズ：
 現在、世界には何か国ぐらいありますか？

① 160カ国 ② 180カ国
 ③ 200カ国 ④ 220カ国

正確には・・・196カ国

③ **世界の人口は？**
 クイズ：
 現在、世界の人口はおよそ何億人でしょうか？

① 70億人 ② 72億人
 ③ 75億人 ④ 77億人

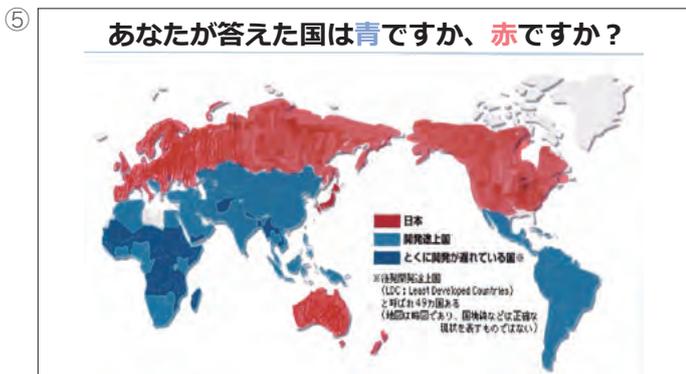
出典：国際連合広報センター 2019年データ
https://www.unic.or.jp/news_press/features_backrounders/33798/

④ **発展途上国の数はどれ位？**

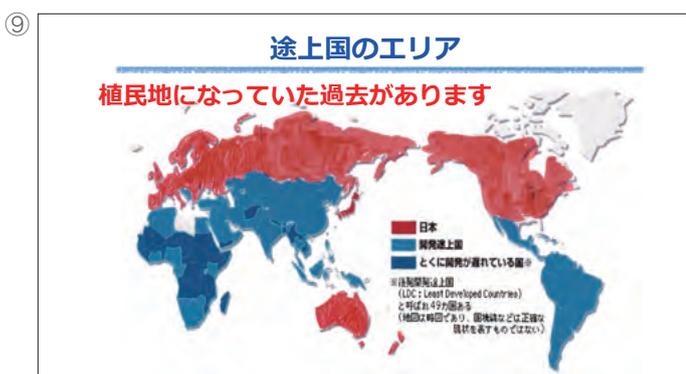
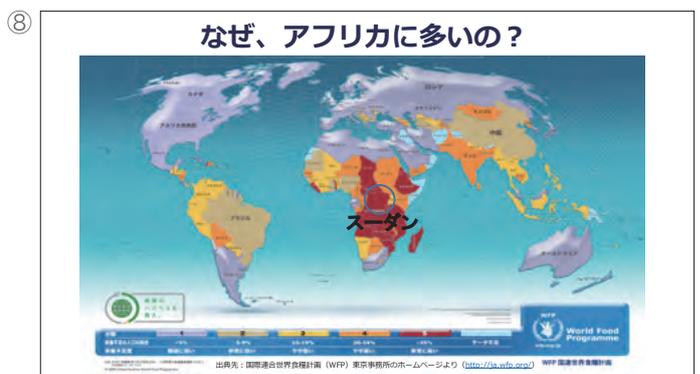
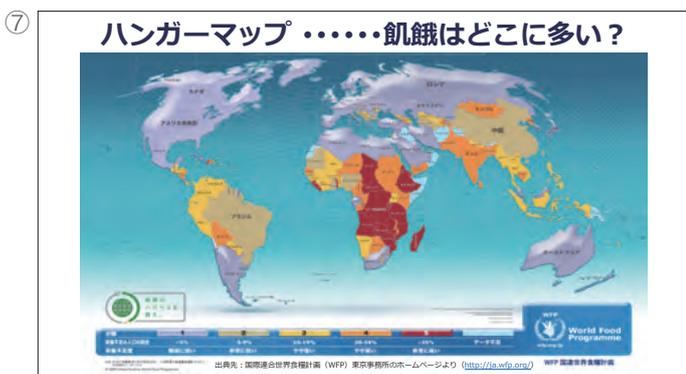
① 80カ国 ② 110カ国 ③ 140カ国

途上国の数 **143**
 世界の国・地域の数 **196**

世界の人口75億人の内、75%の人が途上国に住んでいます。

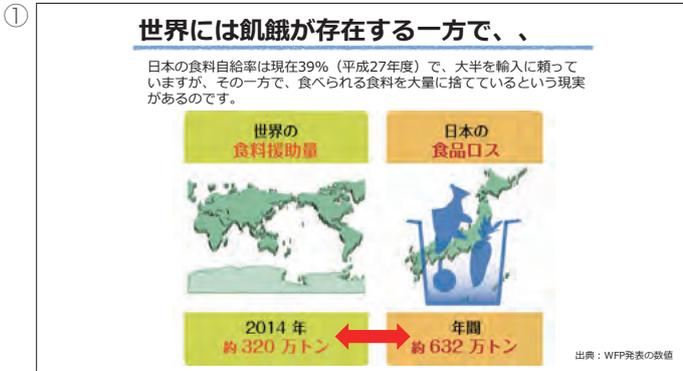


⑥ **なぜあなたは途上国を選ばなかったのだろう？
 青(途上国)の国の数の方が多いのに？**

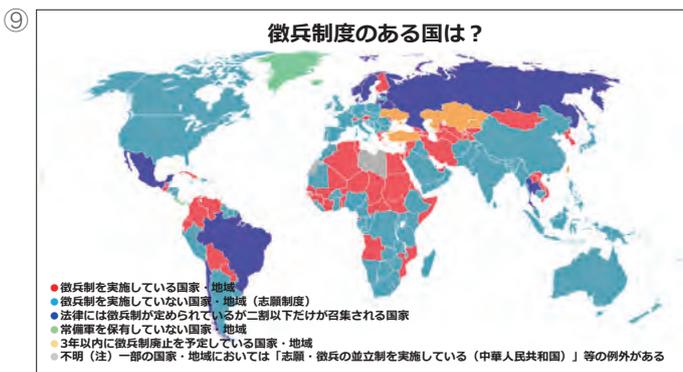
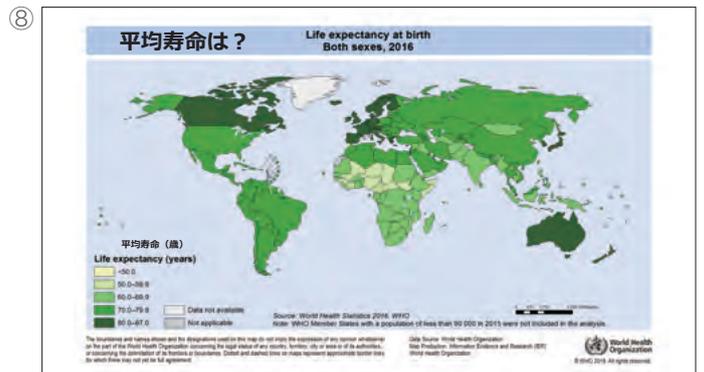
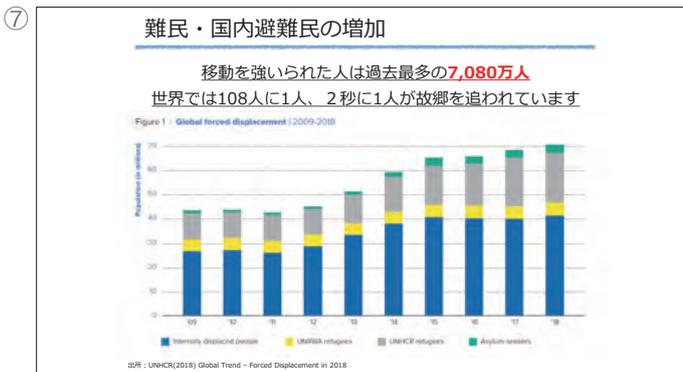
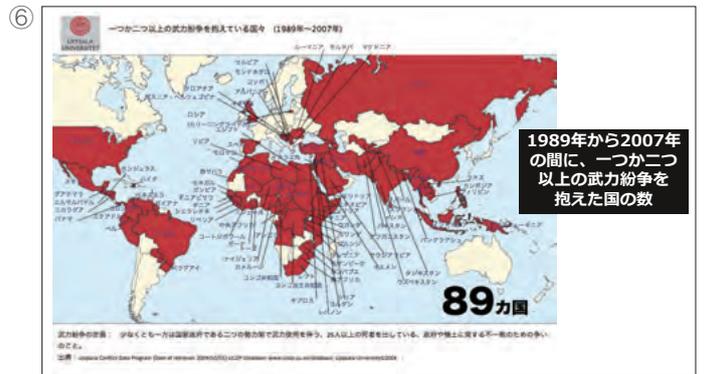
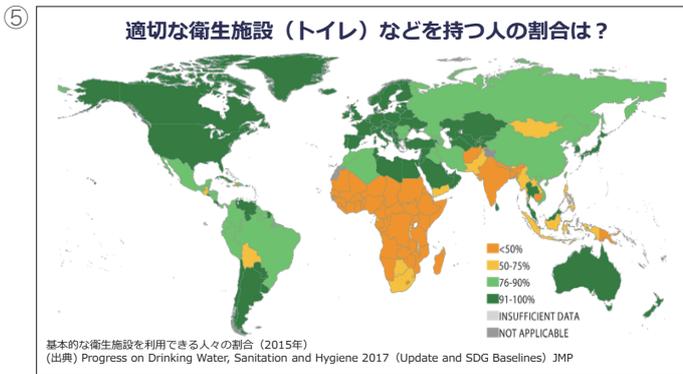
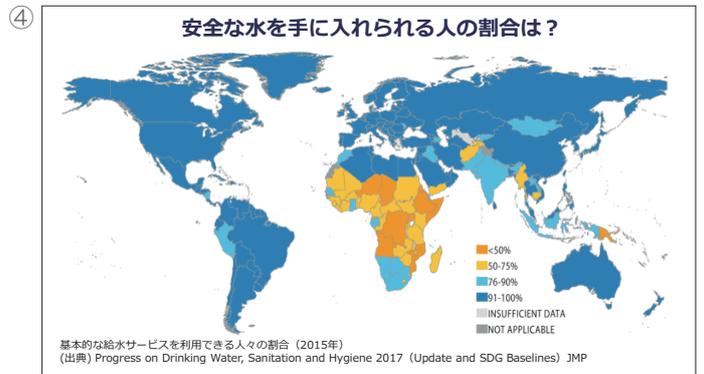
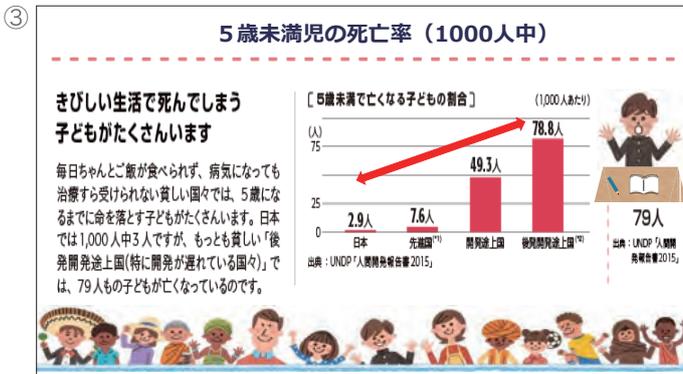


⑩ **世界では
 4秒間に一人が
 飢餓で
 命を落とす**

出典：NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版
<http://natgeo.nikkeibp.co.jp/nng/article/20120125/297289?P=2> [2016/04/20]

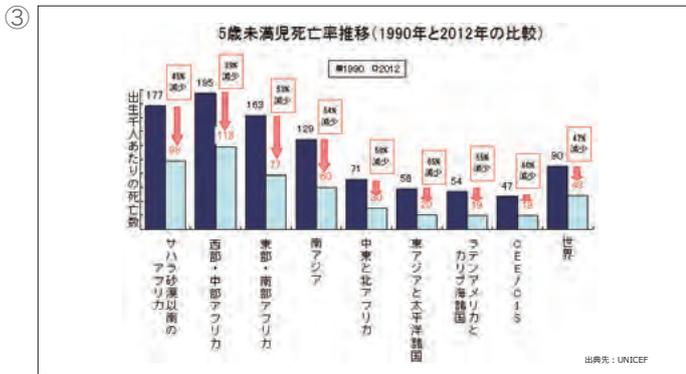


② **他にも、世界にはどのような「差」があるのでしょうか？**



① 「生まれる国」は選べないのに、
生まれた場所が違っただけ
こんなにも「差」があることについて
あなたはどのように感じますか？

② …でも、その差は
「仕方のないもの」なの？



④ 「科学者になりたい」
リベールくん、15歳(エクアドル)

© UNICEF/UN059605/Arcos

2016年に大きな地震が起きて、多くの家も壊れてしまいました。今、復興に向けて頑張っているところです。ぼくは、ずっと科学者になりたいと思ってきましたが、地震のあと、ぼくには夢をかなえるチャンスがあるんだって思って、前よりもその夢が大きくなりました。

⑤ 「科学者になりたい」
リベールくん 15歳(エクアドル)

エクアドル大地震

2016年4月16日、エクアドル沿岸部をマグニチュード7.8の地震が襲い、被災者は72万人にのぼりました。ユニセフは安全な飲み水の提供、衛生設備の整備、教育、心理ケア、子どもや妊産婦への栄養指導、ジカ熱予防などの支援活動を行いました。

⑥ 「生きたい」
ムハマドくん、10歳(バングラデシュ)

© UNICEF/UN0135716/Nybo

ミャンマーにあったぼくの村は、とつぜんおそわれた。二人のきょうだいが銃で撃たれて殺され、ぼくの家は焼かれました。ぬかるんだ道を、時にはあふれた川の水につかりながら、バングラデシュまで何日も必死に歩いてきました。あのおそろしい日に見たこと、にげてきた道のことを思うと、こわくて、苦しくてたまらない。自分も死んでしまってもいい、そう思うとふるえてしまいます。生きたい、ぼくの夢はそれだけです。

⑦ 「生きたい」
モハマドくん 10歳(バングラデシュ)

ロヒンギャ難民について

2017年の夏にミャンマーで激化した暴力から逃れるために、少数民族のロヒンギャの人々が隣の国バングラデシュに逃れています。バングラデシュのコックスバザールという地域には、すでに地元住民の人口を上回る68万8,000人以上の難民が押し寄せ、過密するキャンプや仮設居住区で避難生活を送っています。この難民危機により子ども72万人を含む120万人もの人々が、命と安全を守るための緊急の人道支援を必要としています。

⑧ 「お医者さんになりたい」
ファトゥマさん、10歳(シエラレオネ)

© UNICEF/UN059605/Arcos

わたしの国では、エボラ出血熱という病気が広がって、お父さんもお母さんもその病気で死んでしまいました。二人のこと、わたしにしてくれたことを考えると、泣いてしまいます。でも大丈夫。いまは算数が得意です。勉強して、大きくなったらお医者さんになって、家族を助けられるようになりたい、それがわたしの夢です。

⑨ 「お医者さんになりたい」
ファトゥマさん、10歳(シエラレオネ)

エボラ出血熱って？

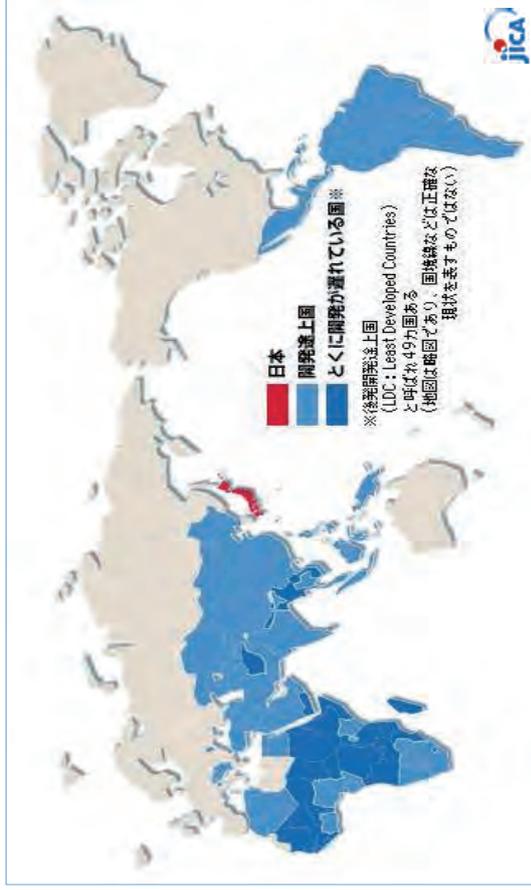
2014年3月から西アフリカのリベリア、シエラレオネ、ギニアを中心に、世界中で猛威をふるったエボラ出血熱。エボラウイルスによって広がる、まだ治療薬が開発されていない感染症です。

エボラの流行が始まって以降2年以上の間に、2万8,637人が感染し、そのうち4,767人が子どもでした。そして、死亡者1万1,315人のうち、3,508人が子どもであり、死亡者の4分の1を占めています。

2016年1月14日、エボラ出血熱は、世界中からの支援のおかげで、流行3カ国(リベリア、シエラレオネ、ギニア)で終息宣言を迎えることができました。

しかし、この3カ国で、ファトゥマさんのように、片親もしくは両親を亡くした子どもたちは2万3,000人ちかいます。そうした子どもたちにとって、エボラ出血熱の影響はこれからもずっと続くのです。

⑩ …あなたには、
なにができるでしょうか？



★スライドを見て、今のあなたの思いを書き留めましょう。

Q1 :

Q2 :

Q3 :

★今日の時間をふりかえって、思ったこと・考えたことを書き留めましょう。

* 「国際理解」 参考資料 *

「国際理解教育」とは？

だれもが平和で公正な世界を願っているが、私たちの住む地球は、戦争、貧困、開発、差別、人権、環境問題など様々な問題を抱え続けています。「国際理解教育」は、このような地球規模の課題に対し、(1)世界の現状を「知る」→(2)課題に「気づき考える」→(3)自分にできることを「実行する」というプロセスで学習に取り組む教育のことをさしています。このような参加体験型・課題解決型の学習を通して、「多文化共生の理念」を育み、平和で公正な地球社会作りに「参加する態度」を養うことを目的としています。

ステップ1 ● 相互に関わり合う「世界の今」を知ろう

私たちの住む世界は、人・物・文化・情報などが互いに行き来し、補い合い、影響し合って成り立っています。地球上に生きる私たちは、世界の様々な国々や人々と無関係には生きられないことを理解します。

ステップ2 ● 偏見や差別のない世界を作ろう

世界には様々な民族・文化・宗教・価値観などがありますが、それぞれがかげがえのない尊さを持つ存在であることを理解し、お互いの違いを受け入れます。

ステップ3 ● 「共生の理念」を養おう

私たちは、お互いの存在を理解し、尊重し合って生きていかなければなりません。自分や自国の価値観のみを正しいとし、押しつけることが、争いや戦争の一因となることを理解します。

ステップ4 ● 自分にできることを考え、実行しよう

現在、地球上にはどのような問題や課題があるのか、まずは知りましょう。そして、その解決のために、世界の国々や人々がどのような努力を行っているか、学びましょう。その後、自分たちができることを実行に移します。

ステップ5 ● 「地球市民」意識を身につけよう

自分の選択や行動は、自分の周りの小さな世界だけでなく、地球全体にも影響を及ぼすことがあります。その認識を持ち、責任ある選択と行動をする態度を身につけます。

国際理解「世界に目を向ける」

なぜ世界に目を向けることが大事なの？

私たちが知らないだけで途上国はいっぱいあってその国の人達のために何かできることがあるかもしれないから。

共通点を探すため。

世界を見ることが新しい発見が見つかるから。

社会人になると外国へ行って仕事をすることも出来ないから。

学ぶことで、視野 他国に行くことが簡単になり、いろいろな国と関わることが多くなったから。

地球の問題は世界の問題なので、少しでも他の国が楽になるようにみんなで協力して取り組まなければならないから。

情報網が広がっていきつれ、相手のことを知って、その相手に適した接し方をしなければならいから。

「生まれる国」は選べないのに、こんなに差があるって...?



自分たちだけが幸せな思いをしていて本当によいのか。他の人も幸せになれないかな。

仕方がないもの。運。

どの国も平等であるべきだ。だから、日本がもつと途上国を支援すればいい。

この差は世界が抱えている最も大きな問題で、何もすることができない自分が悔しい。この差をなくすために必要以上の無駄遣いをなくして、ボランティアや技術を受け渡すなど世界規模で行っていけば少しの人でも助かると思う。

悲しいことだと思う。みんなが同じ権利を持って生まれてきているのに先進国はぜいぜいをして、途上国は貧しい暮らしをしているのはおかしい。

みんな同じ人間なのに生まれた場所のせいでこんなに「差」があるのは差別だと感じた。

みんな同じ命をもって生きているのに平等でないことは変だしダメなことだと思う。先進国だけ発展していくのは悲しいことだと思う。

あなたには何ができてしまうかい？

少しでもたくさんさんの国について知っていくこと。

差がなくなると行動できたらいいと思うけれど、まず、途上国について知ることが大切だと思う。

援助という形ではなく、永久に消えないものを寄付する。

募金しか今はできないけれど、大人になると自分の行動も自由になるから救いたいと思う。



差がなくなるために行動できたらいいと思うけれど、まず、途上国について知ることが大切だと思う。

まだまだあまり分らないけれど少しでも世界のことを考えて行動できたらいいなと思いました。

この時間に考えたこと・感じたこと

世界でこんなにも差が広がっていると知って悲しくなった。

世界にはとてもたくさんの途上国があるのに、私たちはそんな途上国のことを何も知らなかった。もっと調べたいなと思いました。

何ができるかときかれて、募金をするなどと言っている私は無力さを感じる。

こんなにも多い国が食料や環境で困っていることを知ってとても驚きました。少しでも世界に協力できた方がいいなと思いました。

この差は一人でなくすことも日本だけでなくすこともできないと思う。「自分は関係ない」という人をなくして、世界規模でこの問題に取り組まねばならない。

自分たちは当たり前のようにおいしいご飯を食べたりハイテクなゲームをしていたりしているけれど、途上国では満足にご飯を食べることも以前に、生死の境を歩みながら生きているのだと思えば、同じ人間なのにこのような差があることを悲しく感じる。

自分は知っているつもりだった。環境の良いところでも暮らしているから分らなかったけれど、途上国の現状を知れた。自分にも支援、ボランティアなど出来ることがあれば進んでみたい。

先進国が途上国を作ったのだから、他の国のことだからと無視するのではなく、先進国がどうにかしなければならぬと思います。

自分は幸せなんだと改めて思いました。私はそんな人達に何か協力できることを考えて、自分のできることをやっていきたいと思いました。

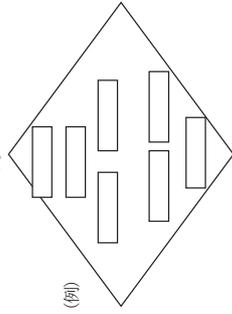
世界の現状を知って衝撃を受けたことが伝わってきました。これからもっと知って、みんなで「世界の幸せ」の実現にむけて、考えていきましょう。

自分たちは限られた世界しか見ていなかったんだと思いました。アフリカの子供と今の私。年は一緒で、性別も一緒、血液型も一緒でも、出身地だけでこんなにもこんなにも道が違ったり、世界思うと、まだまだ差別はあると思ったり、世界中みんなが手と手をとって笑いあって笑顔で暮らせる社会になればいいと思う。

【3年④】 10月1日(月) 6限目 : 各クラス

「A3用紙」の活用

時間	内容	教師の動き
導入 1分	①前回のふりかえりを配布し、いくつか読み上げる。これからも国際問題についても知って、みんなでもっと「世界の幸せ」の実現に向けて考えていきたいと思います。	・振り返り配布。
5分	②今日はまずゲームをします。「無人島ゲーム」です。あなたたちは無人島で暮らすことになりました。なんと生き残らなければなりません。3つだけ持つアイテムを選んでください。それを選んでために、まず班で、次の9つのアイテムの重要度を話し合います。 ③...とその前に、個人で考えてワークシートに記入しましょう。 ・ダイヤモンドグラムは、上が「重要度高め」、下が「低め」を表します。 ・重要度が同じくらいのときは並べて位置づけてください。	・ワークシート配布。 ・アイテムが書かれた9枚の短冊を掲示する。⑦の色分けが事前に分かってしまわないように全部黒色にしてから印刷する。 ★まず個人で活動させる。
展開① 14分	④グループになって班の考えをまとめよう。 【ルール】 (1) リーダーとフォロワーを決める。 (2) リーダーは1人ずつあてる。1人ずつ、考えを話す。 (3) 班員は、口をはさまず(絶対)、うなずきながら「聞く」。 (4) フォロワーはまとめよう。	★各班ごとのものを配付する。 ・A3用紙1枚 ・アイテムが書かれた9枚の短冊 ★とんとん書き出させる。
10分	⑤決まったのりの付けをし、黒板に貼りに来てください。 ⑥上位3つのアイテムと、それを選んだ理由を発表させる。 ⑦この9つのアイテムを色分けします。色は次のように分類します。自分のワークシートのダイヤモンドグラムを色分けしてください。	★目的に到達できたらOK!
展開② 10分	●赤→「生活」→生活必需品 (Needs) ●黒→「医療」→生きていく上であった方がいいもの (Wants) ●青→「教育」→生きていく上であった方がいいもの (Wants) 話し合いによっては、Needs・Wantsどちらにもなりえるので、上記の分け方に拘らなくてもよい。 ※気づくことを挙げましょう。	★個人で活動させる。 ★ヒント ①何色が重要度高い位置にくるか。 ②何色が重要度低い位置にくるか。
まとめ 10分		★この発問が次につながるの で、一番重要です。



松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」 No. 4

Share Happy? とともに生きる地球の未来

組 番 氏名

なくてはならない

あつたらいいな

Needs or Wants? ~無人島ゲーム~

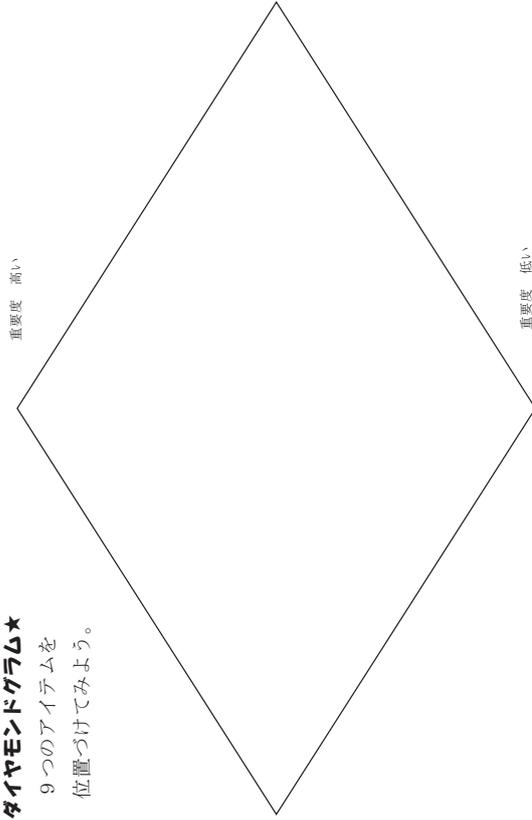
あなたたち4人で、無人島で暮らすことになりました。次の9つのアイテムのうち3つを持っていくことができます。3つを選ぶために、この9つのアイテムの重要度を班で話し合い、ダイヤモンドグラムに位置づけてみましょう。



釣り道具	鍋	星座早見盤
百科事典	ロープ	水の「ろ過」装置
薬	のこぎり	ライター

★ダイヤモンドグラム★

9つのアイテムを位置づけてみよう。



釣り道具

星座早見盤

鍋

百科事典

ロープ

水の「ろ過」装置

薬

のこぎり

ライター

★班で考えをまとめる。

順位	アイテム名	理由	どちら？
ベスト1		Needs / Wants
ベスト2		Needs / Wants
ベスト3		Needs / Wants

★次の分類基準にしたがって、ダイヤモンドグラム上のアイテムを色分けしてみましょう。

●赤→() ●青→() ●黒→()

塗ってみて、何か気づくことはありませんか？

★この時間を振り返って、思ったことや考えたことを書きましよう。

.....

.....

.....

.....

封筒の中身

①師範用「掲示物」 9つのア

イテム

※裏面にマグネットついています。

②班で書くA3用紙 12枚

③班で使う9つのアイテムが

書いてある用紙 12枚

※9つに切って使わせてください。

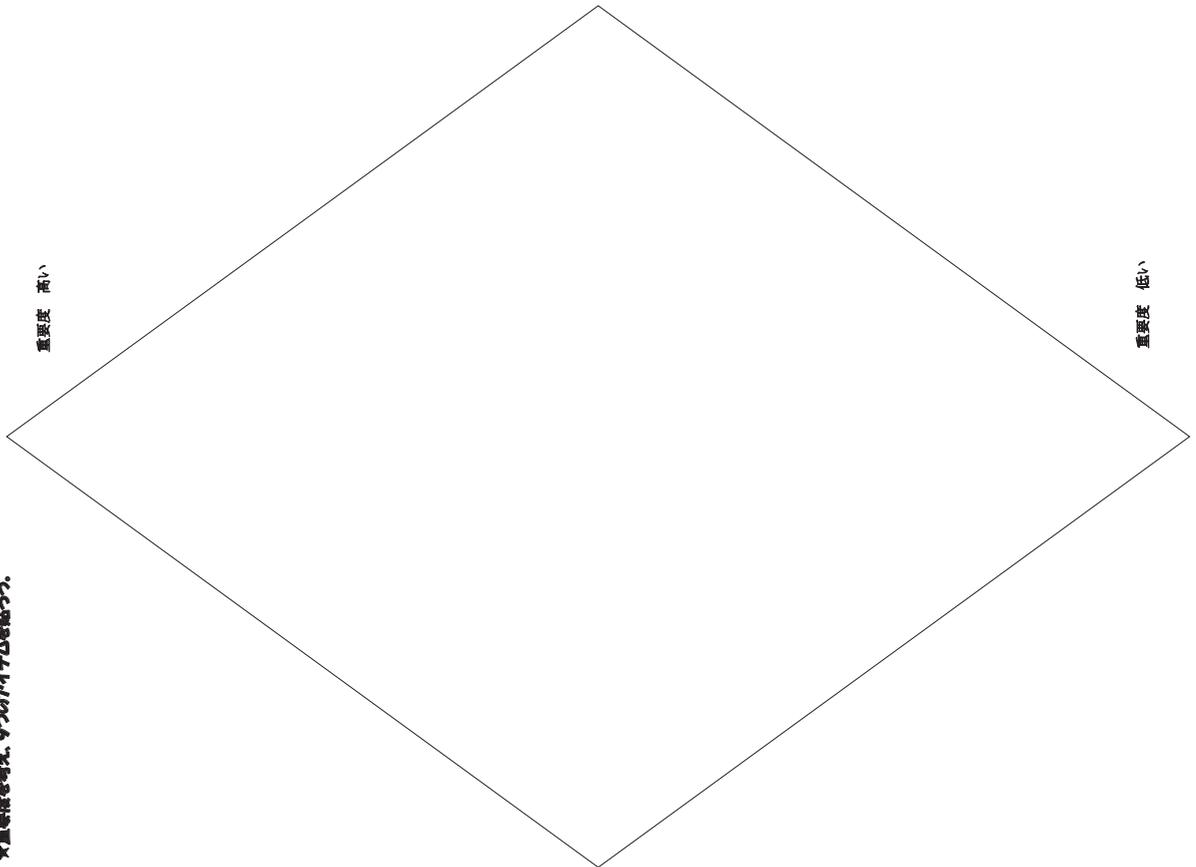
※重要度が決まったら、②に③をのりで貼って
いく。

おすすめの班は 3～4人班です

()班 メンバー[]

★重要度を考え、9つのアイテムを並べよう。

重要度 高い



重要度 低い

「無人島ゲーム」振り返りかえり

感想

「生活」の品物は生きていくために必要だから、やっぱり重要度は高いと思う。
 とはいえ、初めは自分の中では百科事典は重要度が低かったけど、よく考えると、「**危ないものは何か**」とか**命に関わる判断**が載っているから、必要だなと納得した。

「医療」や「教育」もとても大事だけど、私はやっぱり「**生活**」するための道具の方がそれよりもっと大切だと思う。

自分は「教育」は必要だと思う。百科事典のようなものがあったら、毒にもあたらない。

私は「**医療**」が**一番大事だと思っていたけど、それだけでは生きていけない**ので、生活・医療・教育、全部大切だと思いました。

自分の生活を見つめて

百科事典とか薬とかは、**私たちが日本ではあたりまえにあるから下の方に**してしまっただけで、他国では手が届かない人もいますから、教育・医療は、本当は必要だと思う。

あたりまえにある医療とか教育とかが、私たちの中では「**要らないだろう**」となってしまうっていいことに気づきました。

自分は毎日周りにいるんなものがあるから、生活に大切な物ばかり必要だと思っていたけど、知識がなければ、何を食べてよいかかわからないから、知識が必要だと思った。

私たちは普段、当たり前前の幸せに気づいていない。生活していく上で、教育は大切だ。教育がなかったら字も読めないし、辞典で調べることができない。この授業で、**自分の生活のありがたさを知る**ことになった。

自分が知らない物は作ることができない。**本当に必要な物は「命を助けるもの」だ**と思った。



だから、途上国で井戸掘りの技術を教えたり、命を守るために母子手帳を普及させたりといった支援をしているのですね。

「生活」の用品は自分で作れたりするかもしれないが、「知識」は他の物に替えられない。

「**知識**」がなかったために**命を落としたり、病気にかかって薬がなかったり**…医療や教育はものすごく重要なものになってくると思います。私たちの班は百科事典を選びましたが、良かったのではないかと思います。

分かったこと！考えたこと！

発展途上国では、自身の生活を支えるのに精一杯だからこそ医療や教育に手が回らないのだと分かった。その中でも、**生活に必要な物**すらない人々から**争いが生まれる**のかなと考えた。

「**教育**」「**医療**」の**知識は、命に関わるものがある**ので、とても大切だと思う。**知識があることで救われる命がある**。だから、とても価値あるものだし、必要なものだと思う。

【3年】10月23日(火)6限 総合：各クラス

★事前に準備するもの・・・「**紙コップ** or **ペットボトル3つ**」

★掲示物を黒板に貼るための「磁石」8個くらい

中身はこちから入れます！

- ・水 = 水
- ・氷 = 毒
- ・塩水 = 毒
- ・いろはす = 薬

時間	内容	教師の動き
導入 7分	<p>①前回の「無人島ゲーム」の、みんなのふりかえりを読む。 大別すると、中身は次の3つ。</p> <p>★そうはいっても「生活」用品も「教育」も「医療」も、いすれも大切だ！</p> <p>★言われてみたらそうだな。重要度が低くなったのは、無意識に「自分たちの生活からして『あたりまえ』に考えていた」からじゃないかな、反省。</p> <p>★「分かったこと！考えたこと！」→3つとも、その通り。だから、途上国へ出かけていって井戸掘りや農業の技術支援をしたり、ワクチン接種や医療支援を行ったりしているんですね。</p> <p>→でもまだまだ途上国の視点から見ることができていませんね。いろいろな視点から国際理解を深めていきましょう。</p>	<p>★振り返り配布。</p> <p>★ワークシート配る。</p>
展開 ②③で 5分	<p>②今日の課題は「字が読めるってどういうこと？」です。 Q：掲示物を見て下さい。これは何の数字でしょうか？ A：答えは『識字率』です。『識字率』とは・・・(説明) Q：では、どこの国の識字率でしょうか？ A：答えはこの国です。(ネパールの国旗を貼る) ③それでは今からネパール語を勉強します。ネパール語のカードを配ります。</p> <p>◆担任の先生へ〔注意〕◆ 「2,3枚しかありません！「えーっ、無いよ。」と言ったらすかさず「そうです。65.9%の人しか字が読めないからね！」と言ってください。そして、「今の気持ちは？」と聞いてください。</p>	<p>★順次、掲示物を貼る。 ①65.9%と書かれた紙 ②「識字率」説明の紙 ③ネパールの国旗</p> <p>ネパールの識字率 65.9% 出典：国勢調査 2011年</p>
④で 3分	<p>★ポイント★ 持っていない生徒がつまらなそうな顔をしたら、すかさず「どう感じる？」と聞いてください。 い。学べる権利がある。権利がない、ということそれぞれの立場で実感させてください。</p>	
	<p>④学ぶ権利が「ある」人、と「ない」人の気持ちは分かれましたか？あなたは「ある」人ですか？「ない」人ですか？今の気持ちを書き込みましょう。</p> <p>★発表させる。</p> <p>⑤それでは、ネパール語を勉強しましょう。今日はみんな平等に、持っていない人に、持っている人は見せてあげて、一緒にカードを読んでもみましょう！と言う。</p>	

展開 ⑤⑥⑦ ⑧⑨⑩ で 20分	<p>★最後に、楽しい雰囲気であみなんでネパール語を①～⑤まで言い合う。</p> <p>⑥ネパール語を学んだところで、さらにネパール語を学びたいと思います。全員参加です。ルールは全員いづれかを選ぶことです。</p> <p>⑦「ネパールに住むあなたは字が読めません。ところがあがる日、高熱が出てひどい腹痛になりました。だから、薬を飲みたいと思います。でも、字が読めません。たぶんこの3つのうちのどれかが薬です。」 「次の3つは「ネパール語で『毒』『薬』『水』と書かれています。あなたはどれを選びますか？」 (全員起立 30秒で移動)</p> <p>⑧集まった人の中から誰かに、「本当に飲んでもらいます！」 代表者1名を選んでください。「水は、本当に、水が入っています！」「薬は、ちゃんとおいしい味がします！」「毒は、・・・？飲んでみたら分かります！」 ◆担任の先生へ〔注意〕◆ 飲む人はあくまで「希望者」になるようにしてください。食べ・飲みに関しても「最近厳しいので・・・」</p>	<p>★提示する。 ・3つのペットボトル ・ネパール語で書かれた3枚のカード</p> <p>実際の3つのネパール語の文字は開発教育協会の「世界がもし100人の村だったら」に掲載されている。 一般価格：¥2,000+税</p> <p>★不安な気持ちと賭けのような気持ち。</p>
⑩で 5分	<p>⑨「今、どんな気持ちですか？」 ・「どきどきする」「賭け事に参加してみたいだ」 ・「毒を飲んでしまったらどうしよう？」 ⑩では、飲んでください。みんな「せーの！」 ・〇さんが飲んだのが「水」 ・〇さんが飲んだのが「薬」 ・〇さんが飲んだのが「毒」でした。 ⑩飲んだ人にインタビュする。</p> <p>◆担任の先生へ〔注意〕◆ 塩水の生徒がうがいをしたがったから行かせてください。</p> <p>→今日はクラスで活動しましたが、これが国だとしたら？字が読めないということが原因で、今日毒を飲んでしまった人がいたように、〇%の人が「命の危険」にさらされているということですね。</p>	

まとめ
10分

- ⑩今日の課題は「字が読めないってどんなこと？」でした。これが最後の資料です(世界の識字率の地図を掲示)。
- 世界では識字率の低い国がこんなにもあります。
- その原因は「その人個人」にはありません。「教育を受けたくても受けられない、できない」という現状があるのですね。
- ⑨今日の授業を通して、自分が感じたことや考えたことを書きましょう。
- ★振り返りを書かせる。(ワークシートの振り返りのところを音読する)→時間があれば発表する。→集める。

★世界の識字率の地図を掲示する。

★ポイント★

- ・「字が読める」のはあたりまえではない。
- ・「字が読めない」のは個人のせいではない。
- ・字が読めないのは不便だけでなく、命にかかわること。

参考文献：特定非営利活動法人 開発教育協会「世界がもし100人の村だったら」

★指導内容のポイント

- ①「**ともに生きる**」視点で考えさせる。
 - ・途上国での出来事を「海に向こうの他人事」ではなく「自分事」として実感できるように。
- ②「**字が読めない**」ことから生まれる「**危険性**」を認識させる。
 - ・「字が読める」ことは「当たり前」ではない。普段の恵まれた環境を見つめ直せるように。
 - ・「字が読めない」のは、「自分のせい」ではないことを強調。「したくてもできない」現実がある。
 - ・「字が読めない」ことは不便だけでなく、「命にかかわる」ことを強調。

65.9% 識字率

《ネパール語を学ぼう！話してみよう！》ネパール語の文字体が載っているウェブサイト
<https://www.17-minute-world-languages.com/jp/%E3%83%8D%E3%83%91%E3%83%BC%E3%83%AB%E8%A4%9E/>

- ① こんにちは ナマステ नमस्ते (Namaste)
- ② ありがとう ダンニヤバード धन्यवाद (Dhanyabad)
- ③ はい ホ へい (Ho)
- ④ いいえ ホイナ होइना (Hoina)
- ⑤ 私の名前は○○です メロ ナム ○○ホ मेरो नाम...हे। (Mero Naam ○○ Ho)

No. 5

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏 名

字が読めないってどんなこと…？

国際理解についていろいろ学習を進めてきましたが、まだまだ「自分は先進国に生まれて良かった」などと思っはいませんか？大事なことは「ともに生きる」心を持つことです。同じ地球に生きている人間として、途上国に生きている人の立場になって「心」で考えてくださいな。

★「識字率」とは…？

※「識字」とは、文字を読み書きし、理解する能力。

意味・・・

★あなたはどっち？

学ぶ権利が()人です。

どんな気持ちですか？

★どの文字がどんな意味でしょうか？

①	②	③

★今日の授業をふりかえって、感じたことや考えたことを書きましよう。

「字が読めない」ということを体験しました。文字を知らないとおなかが痛くなったとき、葉の瓶と農薬の瓶を間違ってしまい、死んでしまうこともあります。今日の授業で、どんなことを考えましたか？

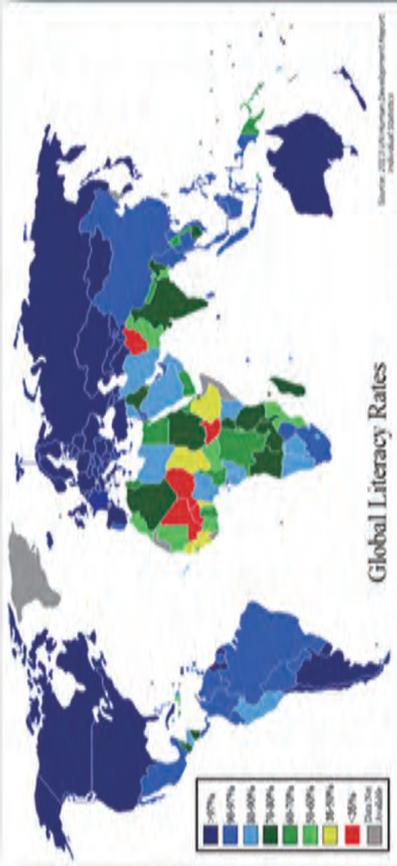


السلام عليكم

3年総合「字が読めないってどんなこと？」の補足資料

- ★識字率とは
 - ・基本的に、大人(15才以上)の識字率(%)。
 - ・ある国または一定の地域で、文字の読み書きができる人の割合。
- [補説]
 - ・ユネスコでは、「15歳以上の人口に対する、日常生活の簡単な内容についての読み書きができる人口の割合」と定義している。
 - ・一般的に「識字」は、単純な算術計算を行う能力である「初歩の計算能力」も含み、日常生活上の短い簡単な文を理解して読み書きすることができる、15歳以上の人口の割合。

★世界の識字率(Global Literacy Rates 2013年)



★ネパールの識字率について
過去の識字率を見ると1951年 5.3% 1995/96年 37.8% (この2つのデータは10歳以上を対象) 2015年には65.9%まで上昇し、徐々にネパールの識字率は上がってきていますが、先進国と言われる国の識字率が98%を超えているという現実と比べると、まだまだ識字率は低いと言わざるを得ません。15歳以上の大人のうち、約65%しか字が読めないということは、3分の1の人は字が読めないということです。

出典：国際協力銀行「貧困プロフィール 要約 ネパール王国」2003年3月
外務省「ネパール連邦民主共和国 基礎データ」平成31年3月28日

★識字率 日本の一例

明治期の各県の調査初年次の自筆率 (文部省年報による)					
府県	調査初年次	調査対象	男子	女子	全体
滋賀県	1877年		89.23	39.31	64.13
群馬県	1880年	満6歳以上	79.13	25.41	52.00
青森県	1881年	全住民	37.39	2.71	19.94
鹿児島県	1884年		33.43	4.00	18.33
岡山県	1887年	満6歳以上	65.64	42.05	54.38

出典： Wikipedia <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%AD%98%E5%AD%A97#cite-note-36>

字が読めないってどんなこと…?

感想

自分は水を選べたけれど、実際に熱が出たすると、**水を選んでも助からない**なと思った。やはり「字が読めない」ということは同時に命の危険が常に近くにあるということだと考えた。こうして自分が学べていることを改めて考え直してみようと思った。

今日は塩水を飲んだからセーフだったけれど、**本当に毒だったら死んでいたい**と思ひ、怖くなりました。もし死んでしまったらどうしよう…などの不安が最初はありました。勉強するというのはとても大事なことで頭ではわかっていますが、苦手な勉強は少し嫌だと思ってしまう。しかし、勉強できるというのは幸せだということを実感しました。

私は学ぶ権利のない人だった。「**ありがとう**」も**読めないなんて嫌だな**と思った。

自分の生活を見つめて直して…

生活するのに必死で字が読めないとは、つらいことだと思うし、読めることが幸せに思います。

普通に「字が読める」ことがどれだけ自分の命を守ってきたのかが、改めて実感できた。読めない字があると不安になるし、命に関わることになってくることが今日の授業で分かりました。字が読めることの大切さと必要さに気づいたし、勉強できることに感謝だなあと思いました。

字が読めることを日本では当たり前になっているから気づかなかつたが、字が読めないといけないので、命の危険にもなってしまうことが分かった。字が読めない人のためには、マークをつけたりだいたいの意味も分かると思う。例えば危険な物にはドクロマークを付けるといいと思う。

この考え方によって、最近、「緊急時」「どんな人にも」「すぐ」分かれるようにするために……と、災害時の避難所や非常口などにマークがつけられていますね。

字が読めないということはずごく怖くて不安なことだと思つた。今日のように「一人か」だけじゃなく、自分の体や未来がかかっていることを重く感じた。

字が読めないことが命の危険につながるなんて考えたこともなかつた。日本は識字率が99.9%で字が読めるのが当たり前だけどアフリカやインドに住む半分の人が読めず命の危険にさらされていると知って自分の生活のありがたさを感じた。

思ったこと！考えたこと！

世界中の人々に学ぶ権利があると考えると、これからは勉強もイヤイヤ思うじやなくて、ありがたみをもって学んでいきたい。

識字できない＝死の危険なので、アフリカの人々は飢餓などに続いて睡いものだと思ひました。僕は、これに対して識字ができて、さらに英語も学んでいくくらいなのでこの能力を有効に使っていききたいと思ひました。

私自身、授業が面倒だと感じることが多いけれど、学ぶ権利のない人からしてみれば、自分の手に入らないものを当然のように受け取り、しかも放棄しようとする人は許せないと思ひえるだろうなと思つた。

「教育を受けること」「学ぶこと」の意味を、改めて考えてしまいますね。

【3年】 10月29日(月) 6限目 : 各クラス

時間	内容	教師の動き
導入 2分		★振り返りを配布する。
展開 3分	① 前回の「識字率」ではネパールが登場しました。 ② 振り返りを読みます。字が読めるかどうかは命にまで関わることなのですね。 ③ 今日「アフリカ」についてです。 ④ ふりかえりの裏にアフリカの地図が印刷されています。見て下さい。国の名前は知っているでしょうか。 ⑤ ワークシートを配ります。 ⑥ 今日の課題は「18個の謎を解きましょう」です。 ⑦ 遠くアフリカと私たち日本での生活。つながりを考えましょう。 ・この18個の品物の中から、日本で暮らす私たちの生活とつながりしているものを探し、○を付けましょう。 ・○はいくつ付けてみましょうか。見つけただけ付けてください。 ・空欄には、この18個以外にも、あなたが知っている「アフリカとつながりがあるもの」を書きましょう。 ⑧ 個人で考える。 ⑨ 4人班で考えて、アフリカとつながりがあるものに○を付ける。 ・リーダー(1名)とフォロワー(3名)を決める。 ・フォロワーの中から、フォロワー書記とフォロワー発表者を決める。 ⑩ 発表する。 ・1班から順に何を選んだか、発表する。	★大きなワークシート(カー)を班に1枚、配付。
展開 12分	⑪ では、答え合わせをします！ ・答えをよく聞きましょう。「もの」と聞わりのある国名が出てくるので、該当する国を地図の中から探し○を付けてみてください。 ⑫ 感想を聞く。	
まとめ 8分	⑬ 中でも、ゲーム機やスマホの裏側を知ってほしいと思います。 ・「その1」を音読する。 ・「その2」動画を再生する。 ⑭ 今日の授業を通して、感じたこと、考えたことを書きましょう。 ・囲みの中の文章を讀む。	

★指導内容のポイント

- ①「自分の生活とつながり」を実感させる。
 ・途上国を「海の向こうの他人事」ではなく「自分事」として実感できるように。
- ②「ともに生きる」視点で考えさせる。
 ・自分の「行動」(何をしようか)を変えることができるのは自分、自分の行動を変えれば、世界も変えられる。
 ・どんな行動をとっていくか、どう考えるか、(自分たちさえよければいい)のか、他の国の人たちは幸せになっ
 たりしていないのか)

その1：レアメタルが紛争の火種になっていることを知ろう

コラム レアメタルが軍事資金に

携帯電話やパソコン、ゲーム機などの電子機器は私たちに便利で快適な生活をもたらしてくれます。携帯電話やパソコン、ゲーム機にはレアメタル(希少金属)と呼ばれる金属が使われており、そのレアメタルを巡って世界規模でどういった問題が生まれているのか、皆さんは知っていますか？

レアメタルを巡って紛争が起きている地域があります。コロンビア共和国(旧ザイール共和国)では、レアメタルの一つ、タンタルが採掘されています。その埋蔵量は豊富で、世界一とも言われています。そのレアメタルを巡って、国や軍、武装勢力などによって紛争が起きます。そして、現在でもコロンビアや隣国の国々では多くの武装勢力による活動が繰り返されています。その多くは、コロンビアのレアメタルの

出典：「国際理解教育 実践資料集」 JICA 地球ひろば

その2：スマホの裏側から考える世界とのつながり

スマホを買う側にいる私たち、便利なスマホの裏側で誰かが犠牲になっていることを知っていますか？
 まずは動画を見てください。

特定非営利活動法人アジア太平洋資料センター(PARC)製作『スマホの真実-紛争鉱物と環境破壊とのつながり』
 紹介映像 <https://www.youtube.com/watch?v=pc0kTweeVrk>

「紛争鉱物」……という言葉を知ってどう感じましたか。

レアメタルのおかげで技術革新が進み、スマホは「低価格化」「軽量化」「多機能化」しました。そして通信は飛躍的に快適かつ便利になりました。その一方でスマホの「大量生産」「大量廃棄」が同時に進み、新しい替えさせざるを得ない状況、「大量消費」「大量廃棄」が同時に進みました。

先進国ではスマホの恩恵を享受する一方で、原料を提供している途上国では紛争が絶えないという現実がいまだにあります。なぜならその鉱物が大きなお金になると知っていると知っているからです。

あなたが持っているスマホの裏側に、途上国の人々の血や涙があると知って、今、どのように感じますか。

*開発教育協会の教材「スマホから考える世界・わたし・SDGs」に載っている、スマホの「原材料・部品」の「世界地図」もよい。スマホの「原材料・部品」が世界のどこからきているかを示している。

(本教材 一般価格：¥2,000+税)

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」 No.6

Share Happy? ともに生きる地球の未来

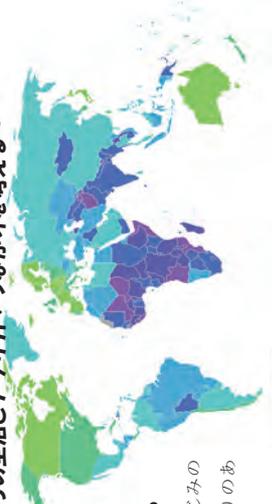
組 氏名

18個の謎を解け！～私たちの生活とアフリカ：つながりを考える～

今日は、私たちの身の回りにあるモノについて、日本から遠く離れたアフリカとつながりを持つものを見つけてみます。発見できるでしょうか？

★アフリカとつながりのあるものは？

次の「18品目」は、私たち日本人にはおなじみのものばかりです。この中からアフリカとつながりのあるものを選んで○を付けましょう。



たこ焼き	携帯電話	蚊取り線香	チョコレート (カカオ)
ゴマ	電気	イセエビ	ダイヤモンド
スシ (マグロ)	バラの花	ガンリン	パニアアイス
桃のジャム	化粧品	うなぎ	ゲーム機
プラチナの指輪	コーヒー		

空欄には、私たちの身近にあるもので、他にアフリカとつながりがあるものがあれば書きましょう。

★今日の授業を通して、感じたことや考えたこと、気づいたことを書きましょう。

.....

.....

.....

.....

18個の謎を解け！ () 班

見つけられるか

★18個の謎を解きましょう。どの品物がアフリカと関係しているでしょうか？

次の「18品目」は、私たち日本人にはおなじみのものばかりです。この中からアフリカとつながりのあるものを選んで○を付けましょう。

たこ焼き	携帯電話	蚊取り線香	チョコレート (カカオ)
ゴマ	電気	イセエビ	ダイヤモンド
スシ (マグロ)	バラの花	ガンリン	パニアアイス
桃のジャム	化粧品	うなぎ	ゲーム機
プラチナの指輪	コーヒー		

18個の謎を解け！

★つながりを見てみよう。

18品目は、それぞれ、アフリカとどのようなつながりを持つのか、表で確認してみましょう。
つながりを確認しながら、地図帳で国の場所を探し、色ペンでチェックしましょう。

資料

たご焼き 日本で消費されるタコの約60%は北アフリカに位置するモーリタニアやモロッコから輸入されています。	携帯電話 携帯電話などの精密機器にはレアメタルがたくさん用いられています。レアメタルの一つコバルトはコンゴ民主共和国やザンビアなどで採掘されています。	蚊取り線香 蚊取り線香に使われている成分はケニアやタンザニアなどの東アフリカから輸入されています。	チョコレート(カカオ) チョコレートの原料であるカカオの約76%は西アフリカに位置するガーナから輸入されています。他に、他にもコートジボワール、ナイジェリアなどから輸入されています。
ゴマ ゴマはアフリカ産と知られており、多くのナイジェリアやブルキナファソ、タンザニアなどのアフリカの国々から日本に輸入されています。	電気 日本は天然ガスをナイジェリアやエジプトから輸入しており、それらは火力発電の燃料として使われています。	イセエビ 南アフリカ共和国(輸入額の10.4%)やナミビア(輸入額の9.6%)からイセエビを輸入しています。	ダイヤモンド アフリカの南端はダイヤモンドの一大産出地であり、ボツワナ、コンゴ民主共和国、南アフリカ共和国などが有名です。
スシ(マグロ) 刺身や刺身に使われているマグロは、北アフリカ(モロッコやアルジェリア、チュニジア)からも輸入されています。	バラの花 日本はケニアやエチオピアからバラを輸入しています。ケニア産のバラが輸入バラの約20%を占めています。	ガンリン 日本は中東だけでなく、スーダンやチベットなどアフリカからも石油を輸入しています。	バナナアイス バナナの原料となるパラダイムの90%以上がマダガスカルから輸入されています。他にウガンダやセーシェルなどからも輸入されています。
桃のジャム 南アフリカ共和国から桃(輸入額の19.5%)やあんず(輸入額の10.7%)などの果実加工品を輸入しています。他にエジプトなどからもジャムを輸入しています。	化粧品 化粧品には乾き肌を出すためにアラビヤゴムが使われています。アラビヤゴムの産地は、スーダン、チャド、マリ、セネガルなどが挙げられます。	うなぎ 近年、日本近海ではウナギの稚魚の不漁が続いており、2012年にマダガスカルからアフリカ産ウナギの稚魚の輸入が開始されています。	ゲーム機 ゲーム機などにはタンタルといいうレアメタルが使われています。アフリカではエチオピア、ルワンダ、モザンビーク、コンゴ民主共和国などがタンタルの産出地です。
プラチナの指輪 貴金属などによく使われているプラチナの約76%を南アフリカから輸入しています。他に産出国としてジンバブエなどが挙げられます。	コーヒー アフリカのコーヒー生産国としては、タンザニアやエチオピア、ケニアが知られており、日本ではモカやキリマンジャロといった名前が売られています。		

出典：JICA「日本-東上層 相互依存関係(国別)」
財務省「貿易統計」
外務省/ウェブサイト「日本とアフリカ」

私たちの暮らしとアフリカとのつながりって...?

18個の謎を解いてみて...

アフリカからたくさん輸入されていて驚きました。普通に使ったり食べたりしている物は全部日本の物だと思っていたけれどこんなに輸入に頼っているんだと思いました。

私たちの生活の食べ物、機械、花など、アフリカと関わっているのに私たちはそれを捨てたりなくしたり...情けなく感じました。自分たちの欲望のために死んでいる人もいるということに気づくことができました。

自分の生活を見つめ直して...

紛争が絶えず起きているというのに、私たちはそれ以上のことを望んで、いろいろな面で頼っているのはその国に対して失礼だと思った。もっと感謝しなければならぬと思う。

私たちが豊かな生活を求めていることがアフリカ内の紛争の原因だと知って驚いた。普段日本のことばかりを考えてきたけれど少し違う視点で見ただけで見えるものがずいぶん違うんだなと感じた。今ある生活があたりまえではないことを忘れないようにしたい。

自分の普段使っている物が、自分たちに近い年代の子どものもとでも買物を選ぶべきだと思つた。使用している物と関係する国のことをもっと知らないといけないと思う。

私達が、今、何が起きているかを知り、どう動くべきなのか、しっかり考えていきたい。

私たちの暮らしは、自国だけでは成り立たないのです。品物の裏側をもっと知りたいですね。そして、どう行動すればよいか、みんなでもっと深く考えていきましょう。



日本はアフリカからたくさん輸入しているのだから、日本はアフリカを支援していくべきだと思った。

日本は、今、輸入している国がもし輸出をやめたら崩壊すると思つた。アフリカは貧しいイメージだけだけれど、実際はつながりのあるものすべてがあると分かって驚いた。

日本は世界のいろいろな国に頼っていて、その国々に支えられて生きているのだと分かった。

日本はいろいろな国に助けてもらっているのと知つた。けれど、他の国に頼りすぎているのではないかなと思つた。考えていかなければいけないと思う。

日本では気候に何も知らずに使っている...苦しい気持ちになりました。すぐに新しい物を買う「大量消費」をしているので、申し訳ないなと思いました。

思つたこと! 考えたこと!

日本はアフリカにととてもお世話になっていることが分かった。レアメタルによって問題が起きていると知り、僕たちの当たり前が実は当たり前ではないことを知り、いろいろな問題にも目を向けてみようと思つた。

私たちにできることは、今まで途上国のおかげで積み上げられた技術を、今度は、途上国のために使うことだと思いました。

某UQ社などで、高級な素材は必ずなののにニントを2000円ほどで提供しているのはフェアな貿易ではないからだと思つた。これだけアフリカが輸出しているのだからアフリカの収入は多く、国や人々は豊かであるはずなのに、アフリカには生活するのは大変な人が数え切れないくらいいるのはおかしいと思う。

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」 No. 7

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏名 _____

熱帯雨林と私たちの生活 ~つながりを考える~

「熱帯雨林」のこど、どれくらい知っていますか？

熱帯雨林…と聞くと「暑い地方」というイメージがありますが、熱帯雨林はどんなところに分布しているのでしょうか？答えて、「最も寒い月でも平均気温が18℃以上あり、一年中降水量が多いところ」です。最も降水量の少ない月でも、60mm 以上の雨が降るところに分布しています。そして地表面積のおよそ3%を占めています。

《熱帯雨林クイズ その1》

- Q1 熱帯雨林の樹木の高さは、高いもので()メートルになる。
 Q2 熱帯雨林は昔つのに()年程度かかる。
 Q3 熱帯雨林は地球上の生物種の()以上が生息している。

しかし、熱帯雨林は、現在、減少し続けています。

《熱帯雨林クイズ その2》

- Q4 熱帯雨林は1分間におよそ()ha ずつ消失している。
 Q5 1980～1995年の間には、日本の面積の約()倍の熱帯雨林が消失した。

世界には現在までで約150万種の生物種が確認されていますが、実際にはこれよりはるかに多く、少なくとも1000万種は存在すると推定されています。しかし、熱帯雨林が消失すると同時に、生物の多様性も消失していつているのが現状です。

森の先住民病はさまざまな薬草を、血止め・化膿止めといった外用薬、腹痛・頭痛・咳止めにきく内服薬として、伝統的に利用してきました。その知識は、現在研究者から注目されています。

マレーシア サラワク州の熱帯雨林の樹木から、エイズウイルスの増殖を抑制する可能性を持つ物質が見つかった、という報告があります。にあり、また、がんなどの特效薬は未発見ですが、そうした未発見の成分を熱帯雨林の植物から見つけることができるのではないかとされています。しかし、こうした、人類にとって貴重な資源は、急速に失われていつているのです。では、なぜそんなにも速いスピードで熱帯雨林は消失しなければならぬのでしょうか。これにも、先進国は関わっているのでしょうか。

《熱帯雨林クイズ その3》

- Q6 熱帯雨林と私たちの生活はどんな物でつながっているだろうか。5つ以上挙げてみましょう。

() ()
 () ()
 () ()

例

① インスタントラーメン



② ポテトチップス



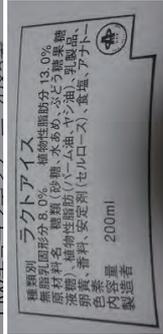
③ チョコレート



④ クッキー



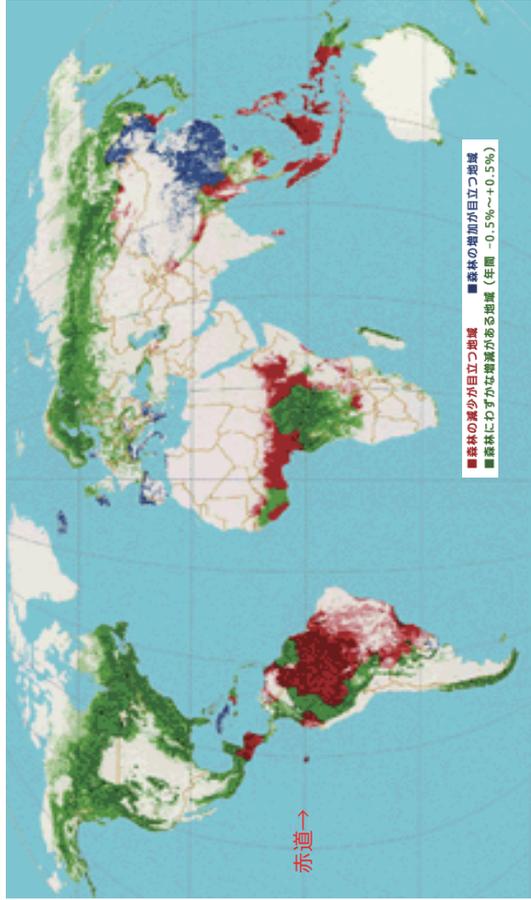
⑤ アイスクリーム



…共通点は？

★ふりかえり★ 今日の授業で感じたこと、考えたことを書きましょう。

世界の森林の増減図：赤道付近の熱帯雨林が存在するエリアで特に減少が目立つ



出典：森林・林業学国際館 https://www.shinri-in-rikyo-u.com/forest_world/meiseki_gensyo.php

「熱帯雨林クイズ」の答え

《熱帯雨林クイズ その1》

- Q1 熱帯雨林の樹木の高さは、高いもので()メートルになる。
 Q2 熱帯雨林は青つのに()年程度かかる。
 Q3 熱帯雨林には地球上の生物種の()以上が生息している。

<Q1> 高いもので80メートル <Q2> 青つのに50～100年。
 しかし、熱帯雨林は、現在減少し続けています。日本も熱帯雨林を輸入して建築資材として使っています。(小学校も木造だった?)

<Q3> 世界には現在までに約150万種の生物種が確認されていますが、実際にはこれよりはるかに多く、少なくとも1000万種は存在すると推定されています。その半分(50%)が熱帯雨林に生息しているといわれています。しかし、熱帯雨林が消滅すると同時に、生物の多様性も消失していつているのが現状です。

《熱帯雨林クイズ その2》

- Q4 熱帯雨林は1分間におよそ()ha ずつ消失している。
 Q5 1890～1995年の間には、日本の面積の約()倍の熱帯雨林が消失した。

<Q4> 世界では1分間に29ヘクタールずつ消失しています。
 これはおよそ540メートル×540メートルの土地と同じ面積です。
 <Q5> 1890～1995年の間に、日本の面積の約5倍の熱帯雨林が消失しました。

森の先住民族はさまざまな薬草を、血止め・化膿止めといった外用薬、腹痛・頭痛・咳止めにくい内服薬として、伝統的に利用してきました。その知識は、現在研究者から注目されています。

マレーシア サラワク州の熱帯雨林の樹木から、エイズウイルスの増殖を抑える可能性を持つ物質が見つかった、という報告がすでであり、また、がんなどの特効薬は未発見ですが、そうした未発見の成分を熱帯雨林の植物から見つけることができるのではないかとされています。しかし、こうした、人類にとって貴重な資源は、急速に失われつつあります。では、なぜそんなに速いスピードで熱帯雨林は消失しなければならぬのでしょうか。これにも、先進国は関わっているのでしょうか。

《熱帯雨林クイズ その3》

- Q6 熱帯雨林と私たちの生活はどんな物でつながっているだろうか。

<Q6> 熱帯材、丸太
 日本は世界一の熱帯材の輸入国である。半分以上が建築・土木に使われ、3割が家具の材料に使われている。コンクリート形成用の型枠としても使用されるが、2、3回で使い捨てにされている。
 日本の住宅はわずか20～40年で建て替えられる。熱帯雨林は青つのに50～100年かかるので、日本人は樹木が育つよりも速いスピードで熱帯雨林を消費していることになる。

- 他にも熱帯雨林と関係があるものは……
 ●カプアム ●スナック菓子 ●チョコレート ●アイスクリーム
 ●マーガリン ●ショートニング ●菓子パン ●クッキーなどの菓子
 ●シャンプー ●リンス ●口紅などの化粧品 などなど

熱帯雨林と私たちの暮らしのつながりって…?!

感想

熱帯雨林の森林伐採と自分たちは何も関係が無いと思っていただけけれど、自分の身近なところに森林伐採とこんなにも関係している物があるのだと知り、びっくりした。

パーム油が熱帯雨林を奪い、私たちの食品等になっっていることに衝撃を受けた。やっぱり地産地消は大切だと思っ。

自分たちの生活を見直して…

熱帯雨林が1分間に29haも消えていて、そんなに?!と思っ。これからはそんなに食べないようになりたいと思っ。

植物油脂は聞いたことはありましたが、何に使われているかは知りませんでした。でも今日、自分が普段食べているものもそういうのが使われていることを知りました。そういうのを考えると、複雑な気持ちです。

私たちは「何を」食べているのでしょうか。普段、なにげなく食べてきた物の味が、これからは変わりますね…。

本当に難しい問題だと思っ。普段使っているものにもたくさん入っっていて、もう少し深く知りたい。

パーム油は植物油であるから環境にやさしいと思われているが、結局、熱帯雨林を切り倒しているんで、そこに暮らしていた生物にとっては全然優しくない。地球にやさしいと思っっているのは思い込みでしかない。

毎日使っったり食べたりしている物の中に入っっている物が、熱帯雨林と強い関係をもっっていることにびっくりした。そのせいで熱帯雨林がどんどん消失しているんでこの問題をしっかりと考えたいと思っ。

日本とはあまり関係ないと思っただけけれど、私たちが何気なく生活していることで、熱帯雨林の環境破壊を、同じ人間の私たちがしているのを知っ驚いたし、悲しくなりました。



ポテトチップスを食いまくるのを自重しようと思っ。

熱帯雨林と自分たちの生活で食べているものとはつながっているのだと分かりました。お菓子などを買うときは見てみたいと思っ。

コンビニのパンの後ろを見たことがあっ、そこにもショートニングやパーム油と書いてあっことを思い出した。身近な物に熱帯雨林で働いている人がいるのを知っ複雑な気持ちだ。食べ残しなどできなないと思っ。

思ったこと!考えたこと!

何気なく見ているものの裏には背景があるというところを知った。こんなにも世界は不平等なのだと思っ。

自分たちが食べている食べ物ほとんど熱帯雨林と関係があることを知り驚いた。熱帯雨林の消滅と私たちの暮らしが繋がっっていることを知り、どうやったら熱帯雨林の消滅を防げるのか考えていきたいと思っ。

自分たちで油を作るか、もうちょっと油を高くするべきだと思っ。

「地球にやさしい」ではなく今を生きる自分たちは今の生活を良くしようとして、長い目で見ると、逆に自分たちの首を絞めていると分かりました。持続可能な社会をもとめて、これから生活環境を作れたら…と強く思っ。

【3年】 11月 総合：各クラス

時間	内容	教師の動き
導入 8分	<p>① 前回は「熱帯雨林」と私たちの生活のつながりを考えました。</p> <p>② 振り返りを読みます。</p> <p>③ 熱帯雨林を消失させている原因は私たちの日常生活の食べ物や生活用品にあることを思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの感想にもよく「何も出来ない自分がなげなげ」と書かれています。本当に、私たちは何もできないのでしょうか。 ・今日は学びを深め、自分たちができることや地球に優しい行動についてみんなで考えていきましょう。 <p>④ 今日の課題は「熱帯雨林を必要以上に破壊しないために私たちができることは？」です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方の例として、ワークシートの表を見て下さい。 ・いつ行動を起こせるかを「すぐできる」「1年以内」にでき「50年以内」にできる」の3つの時間軸で考えてみてください。 ・どこで行動を起こせるかは「個人でできる」「学校でできる」「家庭でできる」「国や世界でできる」の中で考えてみてください。 <p>・例題1：「バーム油について誰かに話す」という行動はどの欄にあてはまるでしょうか？ → 挙手で。一つとは限らない。答えは「家庭ですぐできる」「学校ですぐできる」など。</p> <p>⑤ 【個人で考える】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Q1：ワークシート右上の①～⑥の行動について、番号をどこかの欄に書き入れましょう。 ・Q2：この他にもどんな行動ができるか考えて、自分が考えたアイデアを書き込みましょう。 <p>例) 「残食調査をして食べ残しを減らす」</p> <p>⑥ 【班で考える】→【クラス全体で共有する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で考えを共有する。 ・班ごとに黒板に書かせて、全体で共有する。 	<p>★振り返りを配布する。</p>
展開 5分	<p>★これらすべてが私たちにできること、ですね。真剣に考えてみるとたくさんあります。</p> <p>.....</p> <p>★ワークシートの裏へ。 次はプラントーション農園について詳しく知ってほしいと思います。「ミーナちゃん13歳の一日」を読みましよう。(音読する)</p> <p>【読み終わってから】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを感じましたか。 ・私たちの日常生活はこのような人々の苦しみの上になりたっているのですね。 	<p>★座席をもとにもどすとよいが、あとからまたグループワークが出てくるのでちゃんと話が聴けるならそのままよい。</p> <p>★ミーナちゃんのお話は開発教育協会「バーム油のはなしー地球にやさしいだろうか？」に掲載されている。 ★先生が範読するとよい。</p> <p>★前回使った、油ヤシやトランプ</p>

Q3 4分	<p>・Q3：ミーナちゃんを助けるためにどんなことができるでしょうか。まず個人で考えてみて下さい。</p> <p>⑦ 考えついた人？まだの人？色々いると思いますか…</p> <p>⑧ 班の人と意見を共有しましょう。</p> <p>・班で出した意見を、「班で選んだ良さそうな支援策」の欄に書いていく。</p> <p>⑨ 班で意見をまとめろ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出てきた支援策のうちから良さそうなものを3つ選ぶ。 ・絞った3つの案を、A4紙に書く。 ・黒ペンで書く。 	<p>クの写真は黒板に貼り、現実を想像させる。 写真は、開発教育協会「バーム油のはなしー地球にやさしいだろうか？」に掲載している。</p>
8分	<p>⑩ 各班1枚ずつ黒板に貼って詳しい内容を発表する。</p> <p>⑪ 今日の授業を通して、感じたこと、考えたことを書きましょう。</p>	
2分		
8分 まとめ 3分		

★指導内容のポイント

- ① 「自分たちは無力ではない」何もできないといって諦めてはいけない。「真剣に考えたらできることはたくさんある」「世界のために何ができるかを一生懸命考えよう！」という気持ちになるように。
- ② 「自分の生活とのつながり」を実感させる。「自分事」として実感できるように。

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

No. 8

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏名 _____

「つながり」の中で… ～「地球にやさしい」って何だろう～

パーム油は、私たちが生活の中で日常的に使っている多くの品物に使われています。そのパーム油のもとになる油ヤシを育てるプランテーション農園をつくるのが、熱帯雨林をすごいスピードで伐採することにつながる一要因であることを学びました。つまり、私たちの便利な日常生活と、熱帯雨林の消失が、こんなにも密接につながっている現実があるのですね…。この状況を打開するために、私たちにできるのはどのようなことでしょうか。

《熱帯雨林を必要以上に破壊しないために私たちができることは？》

Q1：次の①～⑯の行動について、班で話し合い、下の表に分類しましょう。

① パーム油についてもっとインターネットや本で調べる	② レトルト食品やインスタント食品の購入を控える	③ 現地に行って実際の様子を見てくる	④ 新聞に自分の意見を投稿する
⑤ シャンプーやリンスの回数を抑らす	⑥ 無駄遣いをしない、無駄に食べ残すことをやめる	⑦ 勉強会を開き、解決策を考える	⑧ 買い物をするときに商品の表示をチェックする
⑨ パーム油を使用している商品を購入しない	⑩ レポートを作成し、掲示したり発表したりする	⑪ 国産の木だけで造った家を建てる	⑫ 植林の活動に参加する
⑬ 企業に、「植物性油脂」と書かれているものの原材料を質問する	⑭ 日本の林業を復活させる	⑮ プランテーション労働者や熱帯雨林のことを常に心にとめて生活する	⑯ 無駄な熱帯材を使わないように管理を行う 機関を設置する

Q2：この他にも私たちができることはありますか。話し合っ、考えを書き込みましょう。

分類	すぐできる	1年以内	50年以内
個人で			
学校で			
家庭で			
国や世界レベル			

フロンテーション・シジョン農園で働く、13歳の少女ミーナの生活

Q3：ミーナを助けるためにできることはありますか。班で話し合ってみよう。

*あなたの考え

*他の人の考え

★ふいかえい★ 今日の授業で学んだこと、考えたことを書きましょう。

*班で選んだ、良さそうな支援策

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

【3年】12月⑨ 「総合」各クラス

時間	内容	教師の動き
導入 5分	① 前回までに「私たちの日常生活の向こうには途上国の生活がある」ということを学びました。ミーナちゃんやんちの生活を知って、どんな支援が出来るかも考えました。振り返りを読みましょう。 ・先進国の消費行動が、途上国の貧しさを生み出す一因となっていることが分かってきましたか？	振り返りを配る。
展開 5分	② 今日、「貧困」から抜け出せない途上国の現状に対して、なんとか打開策を考えてみましょう。 ③ 【個人】 ・プリントを見て下さい。 ・「負の連鎖」はなぜ起こるのでしょうか。 ・8つの項目のつながりについて考えて、 ・「負の連鎖」の図を完成させましょう。	★ワークシートを配付する。 ・正解は一つではない。 ・負しさから抜け出せないことを理解させる。
5分	④ 【班】 ・班で話し合っ、班のプリントに記入して下さい。	
15分	⑤ 今日の本題です。この「負の連鎖」はどうやったら断ち切れるでしょうか。「負の連鎖」を断ち切るためには、私たちはどんな支援をすればよいか、その内容を考えましょう。そう考えた理由も書いて下さい。 【個人】 ↓ 【班】 一人ずつ支援策を出し合う。 協力して、たくさん支援策を考える。 * 【個人】 ワークシートの裏に記入する。 * 【班】 のプリントには赤ペンで記入する。	・途上国の人達が「貧困の輪」から抜け出せるような支援を行う。どんな支援があれば「貧困」から抜け出せるか。 * JICA地球ひろば「国際理解教育 実践資料集」中の「教育が受けられないことで起こる負の連鎖ワーク」も参考になる。(ワークシートあり)
15分	⑥ 班ごとに発表する。	
まとめ 5分	⑦ 今日の授業で感じたこと考えたことを書きましょう。	

★指導内容のポイント

- ①途上国が貧しさから抜け出せない現状(「負の連鎖」)を理解させる。
②どんな支援をしたら、途上国は貧しさから抜け出すことができるのか(本堂に必要な支援)を考え

松山中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解 「世界に目を向ける」 No. 9

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏名

われら地球市民① ～「負の連鎖」を断ち切るためにできること～

自分たちの行動で世界を変えられるかもしれないことを、前回、学びました。今日はさらに、同じ地球で生きる「地球市民」として、世界の人々ともっと幸せを分かち合うために、知恵を出し合ってもらいます。

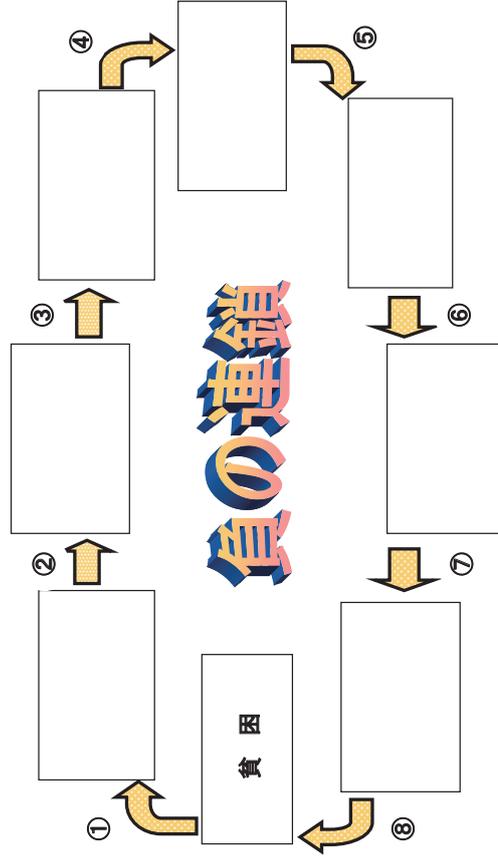


Share Happy!

★「負の連鎖」とは・・・？

世界の貧困状態にいる人々は、さまざまな状況や理由から貧困の負の連鎖に陥っていて、抜け出せなくなっています。次の8つの項目のつながりを考えて下の「貧困の輪」の空欄に入れてみましょう。

学校に行けない	能力や技術が身につかない	栄養不良になる	仕事が見つかからない
健康を損なう	収入が足りない	家計を助けなければならない	貧困



★「負の連鎖」の状況を見て・・・

自分がこの「負の連鎖」の中にいたら・・・？自分一人の力でこの悪循環から抜け出せるでしょうか？・・・と考えると、なかなか自分一人の力では抜け出すことができませぬね。では、外部からどのような支援があればこの悪循環から抜け出せるでしょうか？

【負の連鎖】①～⑧のどの部分を断ち切れれば良いか？

【自分の考え】

の部分 ↑

支援の内容：
その理由：

【班の人の考え】 ※自分の考えと比べて違うものを書き留める

の部分 ↑

支援の内容：
その理由：

の部分 ↑

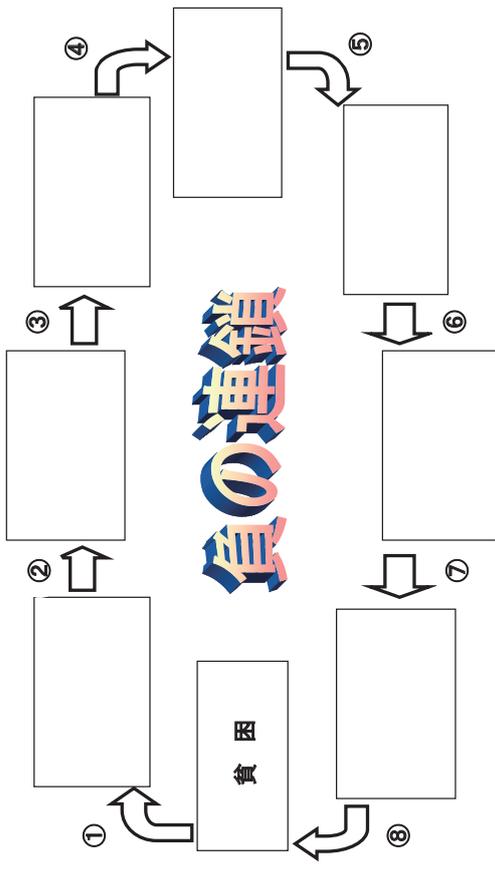
支援の内容：
その理由：

★今日の授業を通して、感じたことや考えたことを書きましょう。

われら地球市民① ～「負の連鎖」を断ち切るためにできること～

3年 組 班 メンバー ()

※自分がこの「負の連鎖」の中にいたら・・・？自分一人の力でこの悪循環から抜け出せるでしょうか？・・・と考えると、なかなか自分一人の力では抜け出すことができませぬね。では、外部からどのような支援があればこの悪循環から抜け出せるでしょうか？



班で考えた支援の内容（理由）

<p>学校に行けない</p>
<p>栄養不良になる</p>
<p>家計を助けなければ ならない</p>
<p>健康を損なう</p>
<p>能力や技術が 身につかない</p>
<p>仕事が見つからない</p>
<p>貧困</p>
<p>収入が足りない</p>

12月 ⑩ 「総合」 各クラス		
過程時間	学習活動	指導上の留意点 (支援)
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの振り返りをする。どんな問題がありましたか？ ・みなさんの感想は…… ・「世界は不平等すぎる！」 ・「なんとかしなければ」 ・「なにができるかな……」 ・世界の不平等さ、貧富の差をどうしたらなくせるか、本気で考える。そして、マニフェストを作る。 	資料 (教材) ・前回の紙 より良い「地球国」にするには？
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ・4人で1チームとなり、「地球大統領選挙」に立候補する。 ・そのためのマニフェストを作る。 【思考活動：1】 ・グループで「どんな地球国にしたいか」話し合っ、中心の理念を決める。 【思考活動：2】 ・班でそれぞれの担当を決める。「文部科学省」「貿易経済省」「保健人権省」「環境食料省」、と4つの役割に分かれ、まずはそれぞれで考える。その後、班に考えを共有する。 【思考活動：3】 ・各班の同じ担当ごとに集まって話し合う。 ※エキスパート活動 【まとめ】 <ul style="list-style-type: none"> ・班に戻り、班のメンバーに考えを伝える。 ・班で考えをブラッシュアップする。 ・マニフェストを練る。 	・ワークシート ・シンキングツール
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・各班の発表を聞く。 ・今日の授業を通して自分の感じたことや考えたことを書く。 (例) 改めて「平等」な世界の実現を目指せたら良いなと感じた。できることは意外にたくさんあると思った。	

★指導内容のポイント

- ①「話し合う」過程を大切に。いろいろな立場で。
- ②「練る」ことができればよい。人の話を聞いて深まる実感を大切に。

No. 10

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏 名 _____

われら地球市民② ～「地球国」から不平等をなくすには・・・?～

世頭は不平等だ！おかしい！」「なんとかしなければ・・・でもどうやって?」という振り返りが、これまでたくさんありました。そこで今日は・・・地球に生きるすべての人々と「地球国」を作るとするならば?と考えます。どんな政策を打ち出せば「地球国」から世界中の不平等をなくせるでしょうか?「マニフェスト」を作成し、班ごとに「地球大統領」選に出るのです。どんな「地球国」をめざすのか。めさす「地球国」を実現するために各省庁からどんな「政策」を出せばよいのか、真剣に考えましょう!

Share Happy!



★世界中の不平等さをなくすための「マニフェスト」を作成し、地球大統領選挙に出馬します!

班の中で、それぞれが担当する省を決めます。そして、各省が担っている分野について政策を出します。そして、班で一つのマニフェストを作りましょう!

私たちは

な世界を作ります!

省	分野	担当者
文 部 科 学 省	学校・教育	
貿 易 産 業 省	貿易・経済 農業・工業	
保 健 人 権 省	医療・福祉 人権・労働	
環 境 食 料 省	環境問題 食料問題	

★今日の授業を通して感じたことや考えたことを書きましょう。

われら地球市民② ～「地球国」から不平等をなくすには・・・?～

組 班 メンバー (_____)

私たちは

世界を作ります!

省	具体的な政策
文 部 科 学 省	
貿 易 産 業 省	
保 健 人 権 省	
環 境 食 料 省	

最後のPR

松任中学校3年 総合的な学習の時間 国際理解「世界に目を向ける」

No. 11

Share Happy? ともに生きる地球の未来

組 番 氏名

われら地球市民 地球大統領選挙をします！

Share Happy!

4人班で「こんな地球になったらいいな」ということを考えてきました。自信を持って発表してください。聞くときは、どんな地球になったら不平等がなくなっみんなが幸せになるようになるのか、真剣に考えながら聞きましょう。



班	マニフェストの理念	特に良いと思った点
1 班		
2 班		
3 班		
4 班		
5 班		
6 班		
7 班		
8 班		
9 班		

① 一番良いと思った班に投票しましょう。そして、なぜそれが良いと思ったのか、理由を書きましょう。

班

② ()のは、なぜだろうか。あなたの考えを書きましょう。

【他の人の考え】

③ 感じたことや考えたことを書きましょう。

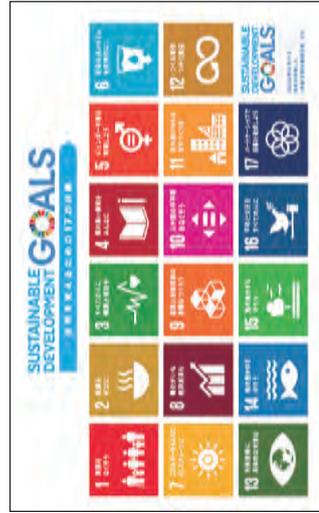
【12～15時間目 レポート作成にむけて 略案】

3年 国際理解「ともに生きる 地球の未来」
【SDGs調べ】～個人レポート～

- 1 用紙**
- ・B4サイズ 1枚
 - ・白色
 - ・横型、横書き
- ※「枠あり」か「無地」、どちらかを各自に選ばせてください。

- 2 手順**
- ① SDGsの番号（ゴール）を1つ決める。
→選んだロゴマークをレポート用紙所定の場所にのり付け。
印刷可能なSDGs教材が載っているJICA地球ひろばのウェブサイト参照：
<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/material/sdgs.html>
 - ② 選んだゴールについて各自で調べ学習を行う。
SDGsは世界に存在する様々な問題・課題を大きく17の分野（ゴール）に分類している。調べ学習を行うと、1つ1つの分野の中には多くの内容が含まれていることが分かるはず。各分野の内容は多岐にわたる為、各自で探求したい事柄を決め、焦点を絞る。
(例) ～～？～という形にする。
 - ③ レポートは、見出しを付けて項目ごとにまとめる。必ず入れる5項目は以下。
*現状 *その原因 *未来への提案 もしくは、自分の行動宣言
*参考文献（本のタイトル、著者名、出版社、出版年）
*グラフ、何かのグラフを最低1つは入れる

- 3 その他**
- ・取組方は、総合十道徳十社会の時間
 - ・最終締め切りは、各クラスの社会科担当で決める
 - ・発表の方法も、各クラスの社会科担当で決める



3年 組 番 氏名			
課題 (ロゴ貼る)		原因	
現状			
		参考文献	
		未来への提案	



卒業研究 発表会 《 未来へ提案しよう! 》

組 番 名 前:



発表の仕方について

- 同じSDGsゴールを選んだ人たちでグループを形成します。
 - そのグループで発表の順番を決めます。発表は一人3分です。自分の班の場所で発表をします。
 - できるだけ沢山の違うSDGsゴールの発表を聞けるようにしたいので、同じグループからそれぞれ手分けして別のグループへ出かけ、別グループに関する発表を聞いてきます。最後はグループに持ち帰ってグループメンバーに共有できるようにします。なので自分の番以外の時に聞きに行くグループを決めます。
- ※ただし自分の発表の回は、自分の班に戻ります。各自が聞きに行く他のグループが事前に先生から指定されている場合は、その指示に従って下さい。
- 発表の間は感想を書かずに、発表をよく聞きましょう。

チーム番号	発表者	新たな発見・疑問に思ったこと・ひらめいたこと・すごいところ
1		
2		
3		
4		

5		
6		

—MEMO—



卒業研究「SDGs未来への提案」学習を通して学んだことを書こう
 ★考えが変わった ★新たに知った ★知って衝撃だった!!
 ★世界を知って、自分が感じたこと、強く思ったこと

.....

.....

.....

.....

.....

.....

今の君たちの気持ちを変えずに！大きな世界を変えるのも、一人の意識から。

資料を使って調べるときは・・・

どの資料からその情報を取ってきたか分かるように、

「参考文献」を書こう。

<例えば・・・本の場合>

① 著者名 ② 「書名」 ③ 出版社 ④ 出版年 ⑤ ○ページ

本の「**奥付**」を見て、書こう。



本の「**奥付**」の見方

② 「書名」はシリーズ名・〇巻も省略せずに、すべて書きましょう。

気をつけよう！情報モラル
著作権・肖像権編

2013年3月 初版第1刷発行
2015年3月 初版第4刷発行

監修 一般社団法人・情報教育研究所
代表理事 永坂武城

発行者 政門一芳
発行所 株式会社 汐文社

④ 一番新しい版の
第1刷の年が
出版年になります。

① 著者名は「著」「作」「文」
「監修」などと
書かれています。

③ 出版社は「発行所」と
書かれています。

<注意>「発行者」は著者ではなく、その本
を発行した会社の代表責任者の名前です。

資料を使って調べるときは・・・

レポートや論文を書くときは、「丸写し」をしてはいけません。

調べたことは、下の2種類のどちらかで書きます。

- ① **引用** (一字一句間違わないように、そのまま書き写す)
- ② **要約** (要点を自分の言葉でまとめる)

資料を使って調べるときは・・・

引用 についてのルール

- ① 調べるために使用した資料（本・インターネットなど）からの引用は、全体の15%まで（1割～2割まで）。
- ② 引用した文章には必ず「**引用**」をつけて、自分の言葉と区別をする。
- ③ どこからその文章を引用したのか分かるように、出典を書く。資料からグラフ・表などを引用する場合も同じように出典を書く。

JICAは、開発途上国に関する「知見の還元」、自分に何ができるかを「考える機会の提供」、国際理解教育推進のための「橋渡し役」の3つを柱に、日本国内で開発教育支援事業を実施しています。

参加型・体験型の学習を通して、世界各国で起こっているさまざまな問題が、私たちの生活と関連していることに気づき、一人一人がその問題の解決に向けて考えることが出来る様、JICA北陸では以下の国際理解教育メニューを用意しています。どうぞ積極的にご活用ください。

JICA国際協力出前講座

開発途上国の現場で国際協力に携わった経験のある青年海外協力隊等のJICA海外協力隊経験者やJICA職員、JICA外国人研修員を学校や地域の学習会などに派遣します。現場で活躍した講師達から国際協力の体験談や開発途上国の実状・文化を直接聞くことができます。



民族衣装を着て講師を務めるJICA職員

みなさまからのご要望にお応えし、目的に合った講師を派遣します。

こんな活用法
があります！

- ➡ 例1 講師：青年海外協力隊 内容：開発途上国で行ったボランティア活動を紹介
例2 講師：JICA 職員 内容：国際協力の仕事やキャリアパスを紹介

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト

次の世代を担う中学生・高校生を対象に作文コンクールを毎年開催しています。身近な地域や世界が直面している問題や課題について、「なぜこのようなことが起きるのだろうか?」、「解決するために私たちには何ができるのだろうか?」、と考えるところからまずは始めてみましょう。日本国内や国際社会で起こっている様々な現実を「自分にも関係のある出来事」として受け止め、そして考えることは、みなさんの人生をより豊かにし、また世界をより良くしていく一歩になると思います。

～大きな世界を変えるのも、一人の意識から～



●応募について●

募集：毎年6月中旬～9月中旬（応募は1人1作品、日本語で書かれた未発表のもの）

文字数：中学生は本文1200字（400字詰原稿用紙3枚）以内、高校生は本文1600字（400字詰原稿用紙4枚）以内

最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞には、賞状および約1週間の海外研修が副賞として贈られます。海外研修には、JICAプロジェクトの訪問やホームステイ、現地の人たちとの交流などが含まれます。

世界地図もご用意しています

世界では様々な言葉が話されています。多様性を知るきっかけとして、JICA北陸の世界地図、「世界の言葉でありがとう／こんにちは」を授業などにご活用ください。

世界各国の民族衣装を着たキャラクターがそれぞれの現地語で「ありがとう」と「こんにちは」を紹介しています。無料で提供していますので、必要な方はJICA北陸までお問い合わせください。



教師海外研修

開発教育・国際理解教育に取り組む教員の方々に、実際に開発途上国を訪問する機会を提供することで、まずはその現状や国際協力の現場、日本との関係について理解を深めて頂きます。帰国後は、訪問によって得た気づきや素材を教材にして学校現場で国際理解の授業を実践して頂きます。本プログラムは研修の成果を次代を担う児童・生徒への国際理解教育に役立てて頂くことを目的としています。また、研修終了後も、開発教育・国際理解教育の中核的指導者として活躍いただくことを期待しています。

研修の流れ



国内事前研修



海外研修前に事前研修を行います。メンバー間の親睦を深めながら、訪問国の概要などを学習します。

海外研修



海外研修中は、JICAの国際協力の現場や現地の学校を訪問します。

実践授業



海外研修終了後はそれぞれの所属校で様々なテーマで授業を行います。

大学生向け人材育成プログラム:グローバルキャンパス

JICA北陸では、国際理解・国際協力体験型プログラム「JICA北陸グローバルキャンパス」を毎年開催しています。対象は北陸3県に在住の大学生、大学院生、専門学校生の方々です。グローバルキャンパスは、海外での国際協力活動や国内で出来る国際貢献について知り、考えるための入門プログラムです。同じ興味・目標を持っている、違う学校の人達とも知り合える機会になります。国際協力の専門機関であるJICAがアレンジするプログラムだからこそ体験出来る内容が確実にあります。学校から飛び出して、教科書や教室では学べないことを皆で一緒に体験して成長しませんか？



JICA研修員と交流を深める参加学生



ワークショップを通じたSDGs学習

学校で使える国際理解授業用 セット一式

JICA北陸は、教師海外研修に参加された先生方が作成した授業用の教材一式をウェブサイト上で提供しています。誰でもそのまま使える、真似できるセットになっていますので、作業負担を減らしながら国際理解教育に取り組むことができます。

アップロードしているデータは全て著作権フリーの教材として皆さまにご活用頂けるものです。ワードファイルなどの元データも掲載しています。元データをダウンロードして、そのまま使うことも、必要部分を上書き修正し利用することも可能です。ぜひご活用ください。



ぜひ検索して
見つけて下さい!

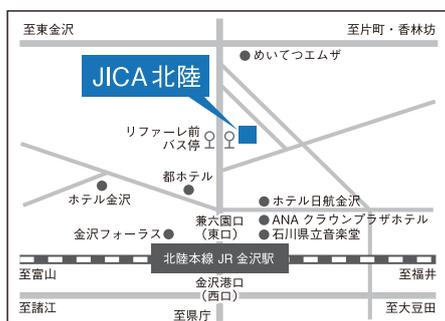
JICA 北陸 開発教育

検索



携帯から
QRコードでも
検索できます

JICA北陸へようこそ



金沢駅兼六園口(東口)から徒歩5分
北鉄バス「リファール前」バス停目の前

国際協力のことならおまかせ!

受付時間 / 9:30~17:45(12:30~13:15は昼休み)

休 日 / 土・日・祝日・年末年始

所 在 地 / 〒920-0853

石川県金沢市本町1-5-2リファール (オフィス棟) 4F

連 絡 先 / TEL 076-233-5931

FAX 076-233-5959

E-mail / jicahric@jica.go.jp

■ウェブサイト

JICA全体 <http://www.jica.go.jp>

JICA北陸 <http://www.jica.go.jp/hokuriku/>

■Facebook(フェイスブック)

JICA北陸 <http://www.facebook.com/jicahokuriku>

富山・福井にもJICAデスクがあります

富山県と福井県の国際交流協会内に、「国際協力推進員」をJICAデスクとして配置しています。皆さまの身近な国際協力のサポート役として、様々な地域の国際協力に取り組んでいます。

JICA事業や国際協力に関することなら何でもお気軽にご相談ください。

富山県デスク

富山市牛島新町5-5 インテックビル4F
公益財団法人 とやま国際センター内 富山県国際協力推進員
TEL : 076-464-6491 FAX : 076-464-6491
E-Mail : jicadpd-desk-toyamaken@jica.go.jp

福井県デスク

福井市宝永3-1-1 福井県国際交流会館
公益財団法人 福井県国際交流協会内 福井県国際協力推進員
TEL : 0776-28-8800 FAX : 0776-28-8818
E-Mail : jicadpd-desk-fukuiken@jica.go.jp

